

6. 地域の概況

6.1. 自然的狀況

6. 地域の概況

概況調査は、平成 24 年 1 月時点で発行されていた資料をもとに実施した。

概況調査に使用した資料は、公害関係資料の最新年度版（平成 22 年度測定結果、データは平成 22 年度）、仙台市統計書の最新年度版（平成 22 年版、データは平成 21 年度）、宮城県環境白書（資料集）の最新年度版（平成 23 年版、データは平成 22 年度）、平成 6 年度自然環境基礎調査報告書（平成 7 年 3 月 仙台市）、平成 15 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書（平成 16 年 2 月 仙台市）、自然環境保全基礎調査（平成 14 年 環境省）等や、環境全般の各種統計及び行政計画に係る既存文献で、さらに現地踏査を行った。

6.1. 自然的状況等

6.1.1. 大気環境

(1) 気象

ア 気温、降水量、風向・風速等の状況

仙台管区气象台（仙台市宮城野区五輪 1-3-15 仙台第 3 合同庁舎）及び七郷測定局（仙台市若林区荒井字堀添 53-2 七郷小学校敷地内）における平成 22 年度の気象の状況は、表 6.1.1-1 に示すとおりである。

仙台管区气象台における平成 22 年度の平均気温は 13.1℃、月最高気温は 9 月の 35.5℃、月最低気温は 1 月の -7.0℃である。降水量については、年降水量は 1,430.0mm、月最多降水量は 250.0mm（12 月）、月最少降水量は 8.5mm（1 月）である。また、年平均風速は 3.0m/sec、最多風向は北北西となっている。

七郷測定局における年平均風速は 1.9m/sec、最多風向は北となっている。

表 6.1.1-1 気象の状況（平成 22 年度：仙台管区气象台・七郷測定局）

月	仙台管区气象台						七郷測定局		
	気温（℃）			平均湿度（%）	平均風速（m/sec）	最多風向	合計降水量（mm）	平均風速（m/sec）	最多風向
	最高	最低	平均						
4 月	18.5	0.5	8.2	68	3.4	南東	163.5	2.1	北
5 月	28.1	6.1	14.7	70	3.0	南東	182.0	2.0	北
6 月	30.1	8.6	20.4	79	2.5	南東	146.5	1.6	南
7 月	35.0	18.2	25.3	79	2.4	南東	134.0	1.6	南
8 月	34.5	22.6	27.2	77	2.2	南東	37.5	1.5	南
9 月	35.5	11.1	21.7	77	2.7	北北西	248.0	1.7	北
10 月	26.7	4.2	16.2	75	2.7	北北西	124.5	1.6	北北西
11 月	18.9	1.9	10.1	67	3.0	北北西	40.0	1.8	北北西
12 月	19.9	-2.0	5.7	68	3.8	北北西	250.0	2.3	北
1 月	9.1	-7.0	0.5	63	3.6	西北西	8.5	2.1	西
2 月	14.0	-2.6	3.2	64	3.4	北北西	52.0	1.9	北
3 月	19.6	-4.1	3.8	63	3.5	西北西	43.5	2.0	西
全年	35.5	-7.0	13.1	71	3.0	北北西	1,430.0	1.9	北

※仙台管区气象台及び七郷測定局は、東北地方太平洋沖地震による浸水の影響はなかった

出典：仙台管区气象台

七郷測定局（宮城県保健環境センター大気常時監視速報）

(2) 大気質

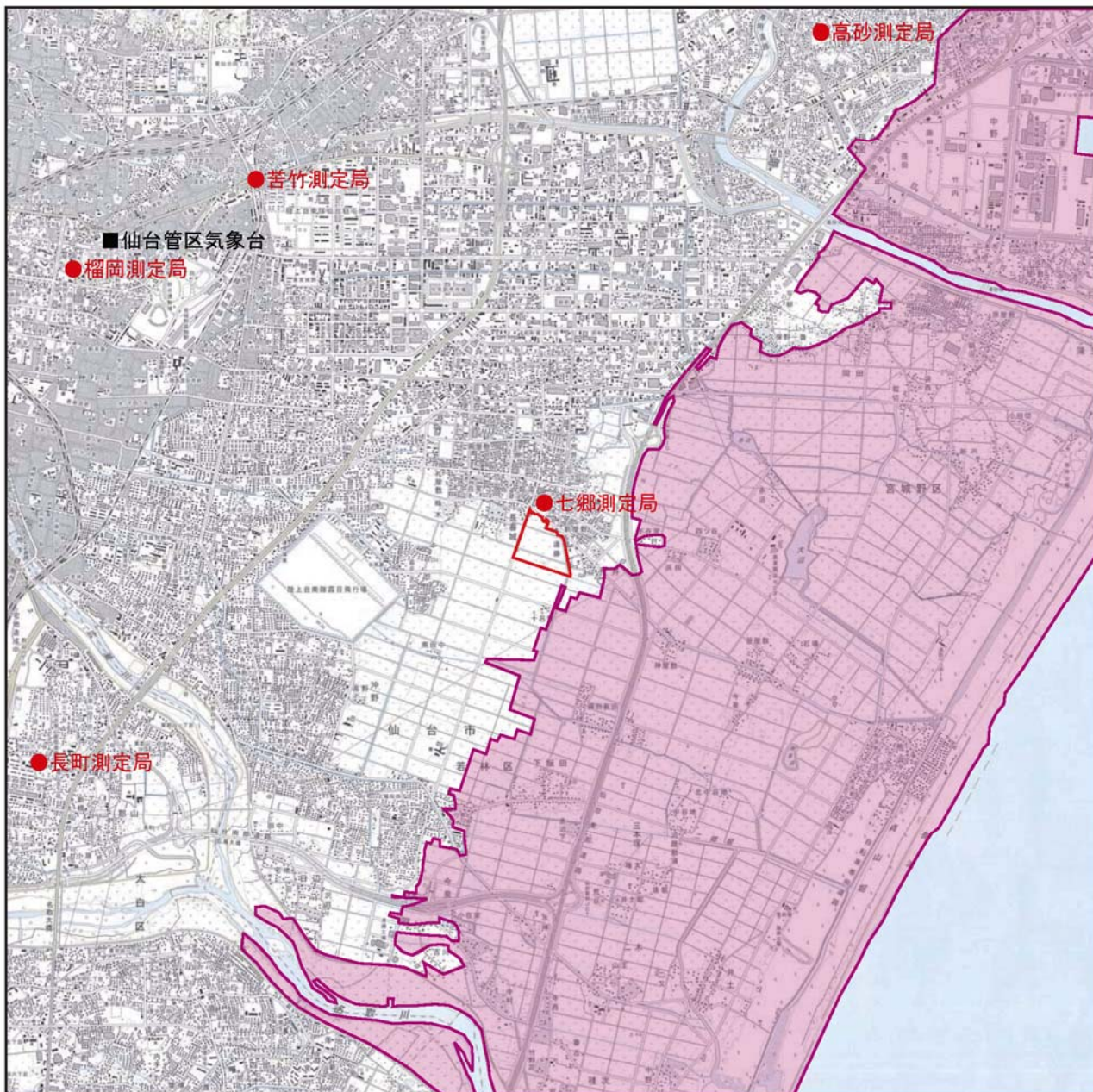
ア 大気汚染の状況

概況調査地域における大気汚染常時監視測定局の測定項目は、表 6.1.1-2 に示すとおりである。事業予定地に最も近い測定局は七郷測定局である。

表 6.1.1-2 大気汚染常時監視測定局の測定項目

測定局名称		設置場所 所在地	二酸化 硫黄	二酸化 窒素	光化学 オキシダント	浮遊粒子 状物質	風向 風速
一般環境 測定局	七郷測定局	仙台市七郷小学校 若林区荒井字堀添 53-2	—	○	○	○	○
	長町測定局	仙台市東長町小学校 太白区郡山六丁目 5-1	—	○	○	○	○
	高砂測定局	仙台市福室小学校 宮城野区福室五丁目 16-1	—	○	○	○	○
	榴岡測定局	仙台市榴ヶ岡公園 宮城野区五輪一丁目 2-3	○	○	○	○	—
自動車 排出ガス 測定局	苦竹測定局	国道 45 号坂下交差点 宮城野区原町三丁目 7	○	○	—	○	—

※上表七郷測定局等は、東北地方太平洋沖地震による浸水の影響はなかった
出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

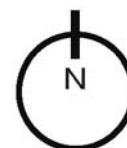


※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ (2011.4.9)」を基に作成

※大気質測定局は、東北地方太平洋沖地震による浸水の影響はなかった。

凡 例

- 事業予定地
- 大気質測定地点
- 気象台
- 浸水区域



縮尺 1/60,000



図 6.1.1-1 大気質測定地点図

(ア) 二酸化硫黄 (SO₂)

平成 22 年度における二酸化硫黄 (SO₂) の測定結果は、表 6.1.1-3 に示すとおりである。

榴岡測定局、苦竹測定局ともに、1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm を超えた日及び 1 時間値が 0.1ppm を超えた時間はなく、環境基準を満足している。

また、平成 22 年までの過去 5 年間に於ける二酸化硫黄 (SO₂) の日平均値の 2% 除外値の経年変化は図 6.1.1-2 に示すとおりであり、榴岡測定局では横ばい、苦竹測定局では減少傾向で推移している。

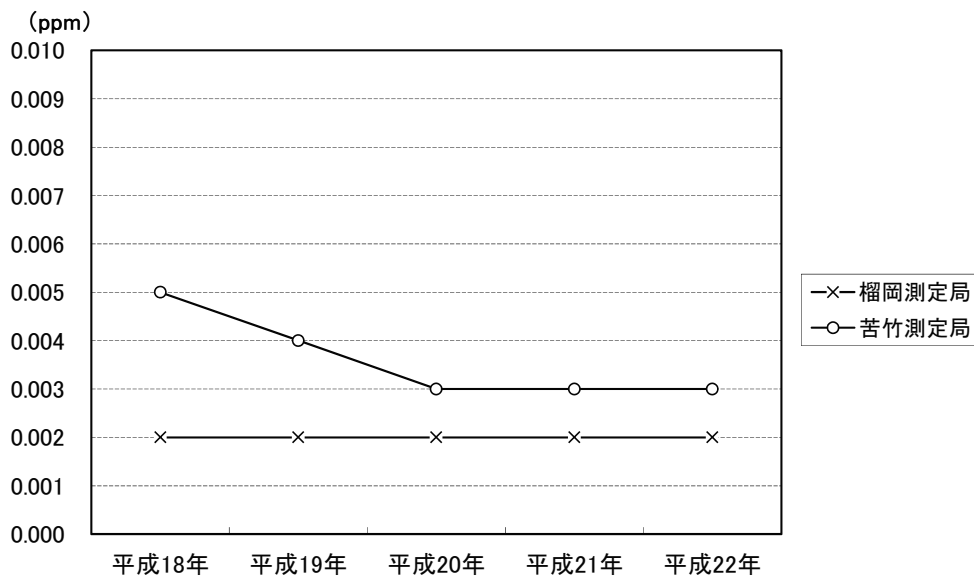
表 6.1.1-3 二酸化硫黄 (SO₂) 年間測定結果 (平成 22 年度)

一般環境測定局	年平均値	1 時間値が 0.1ppm を超えた時間数とその割合		日平均値が 0.04ppm を超えた日数とその割合		日平均値の 2%除外値	環境基準の長期的評価による日平均値が 0.04ppm を超えた日数	環境基準
		(ppm)	(時間)	(%)	(日)			
榴岡測定局	0.001	0	0.0	0	0.0	0.002	0	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
苦竹測定局	0.001	0	0.0	0	0.0	0.003	0	

※上表榴岡及び苦竹測定局は、東北地方太平洋沖地震による浸水の影響はなかった

出典：公害関係資料集 平成 23 年度 (平成 22 年度測定結果) 仙台市環境局

長期的評価：年間の 1 日平均値のうち、高い方から 2% の範囲にあるもの (365 日の測定値がある場合、高い方から 7 日分の測定値) を除外した後の最高値を環境基準と比較して評価を行う。ただし、1 日平均値について環境基準を超える日が 2 日以上連続した場合は、環境基準を達成しなかったものとする。



出典：公害関係資料集 平成 23 年度 (平成 22 年度測定結果) 仙台市環境局

図 6.1.1-2 二酸化硫黄 (SO₂) の日平均値の 2% 除外値の経年変化

(イ) 二酸化窒素 (NO₂)

平成 22 年度における二酸化窒素 (NO₂) の測定結果は、表 6.1.1-4 に示すとおりである。

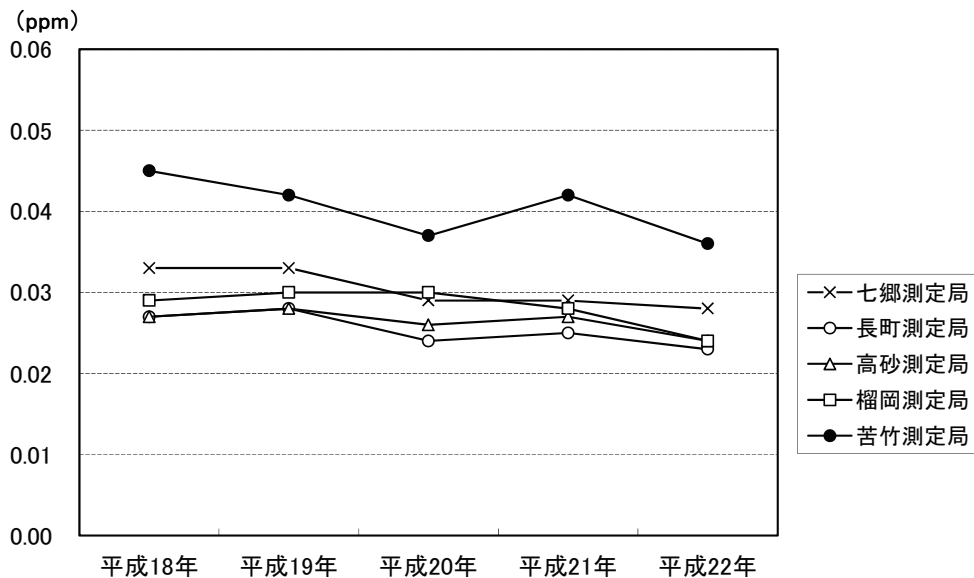
七郷測定局の年平均値は 0.013ppm、日平均値の年間 98%値は 0.028ppm であり、環境基準及び「仙台市環境基本計画」における定量目標を満足している。

また、平成 22 年までの過去 5 年間における二酸化窒素 (NO₂) 日平均値の年間 98%値の経年変化は、図 6.1.1-3 に示すとおりであり、やや減少傾向で推移している。

表 6.1.1-4 二酸化窒素 (NO₂) 年間測定結果 (平成 22 年度)

一般環境測定局	年平均値	日平均値の年間 98%値	環境基準	仙台市定量目標 (仙台市環境基本計画)
	(ppm)	(ppm)		
七郷測定局	0.013	0.028	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。	0.04ppm 以下
長町測定局	0.011	0.023		
高砂測定局	0.011	0.024		
榴岡測定局	0.011	0.024		
苦竹測定局	0.021	0.036		

※上表七郷測定局等は、東北地方太平洋沖地震による浸水の影響はなかった
出典：公害関係資料集 平成 23 年度 (平成 22 年度測定結果) 仙台市環境局



出典：公害関係資料集 平成 23 年度 (平成 22 年度測定結果) 仙台市環境局
図 6.1.1-3 二酸化窒素 (NO₂) 日平均値の年間 98%値の経年変化

(ウ) 光化学オキシダント (O_x)

平成 22 年度における光化学オキシダント (O_x) の測定結果は、表 6.1.1-5 に示すとおりである。

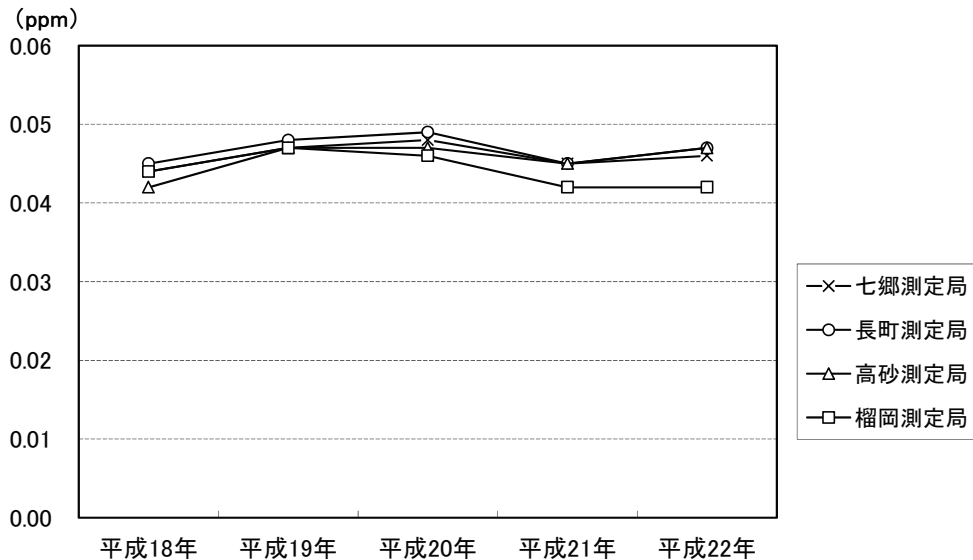
七郷測定局の昼間の 1 時間値の年平均値は 0.032ppm、昼間の日最高 1 時間値の平均値は 0.046ppm、昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数と時間数は 41 日、191 時間となっている。

また、平成 22 年までの過去 5 年間に於ける光化学オキシダント (昼間の日最高 1 時間値の平均値) の経年変化は、図 6.1.1-4 に示すとおりであり、0.04~0.05ppm の範囲で推移している。

表 6.1.1-5 光化学オキシダント (O_x) 年間測定結果 (平成 22 年度)

一般環境測定局	昼間の 1 時間値の年平均値	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数と時間数		昼間の日最高 1 時間値の平均値	環境基準
	(ppm)	(日)	(時間数)	(ppm)	
七郷測定局	0.032	41	191	0.046	1 時間値が 0.06ppm 以下であること。
長町測定局	0.034	53	223	0.047	
高砂測定局	0.033	49	219	0.047	
榴岡測定局	0.031	25	130	0.042	
苦竹測定局	—	—	—	—	

※上表七郷測定局等は、東北地方太平洋沖地震による浸水の影響はなかった
出典：公害関係資料集 平成 23 年度 (平成 22 年度測定結果) 仙台市環境局



出典：公害関係資料集 平成 23 年度 (平成 22 年度測定結果) 仙台市環境局
図 6.1.1-4 光化学オキシダント O_x (昼間の日最高 1 時間値の平均値) の経年変化

(エ) 浮遊粒子状物質 (SPM)

平成 22 年度における浮遊粒子状物質 (SPM) の測定結果は、表 6.1.1-6 に示すとおりである。

七郷測定局は 1 時間値の 1 日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日及び 1 時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間がなく、環境基準を満足している。

また、平成 22 年までの過去 5 年間に於ける浮遊粒子状物質 (SPM) 年平均値の経年変化は図 6.1.1-5 に示すとおりである。七郷測定局の測定値は横ばいに推移している。

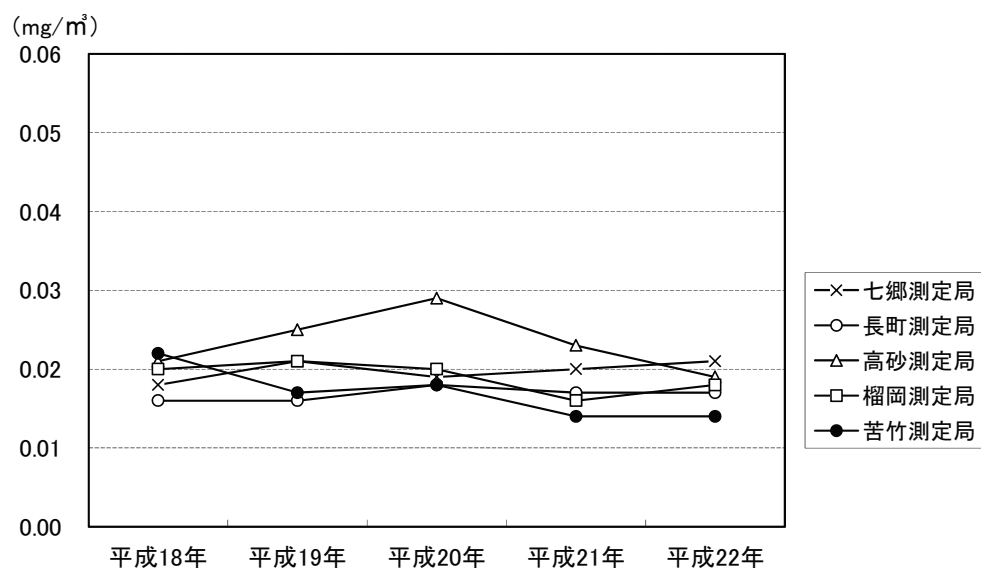
表 6.1.1-6 浮遊粒子状物質 (SPM) 年間測定結果 (平成 22 年度)

一般環境測定局	年平均値	1 時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数とその割合		日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		日平均値の 2% 除外値	環境基準の長期的評価による日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数	環境基準
		(時間数)	(%)	(日)	(%)			
七郷測定局	0.021	0	0.0	0	0.0	0.050	0	1 時間値の 1 日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1 時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であること。
長町測定局	0.017	0	0.0	0	0.0	0.043	0	
高砂測定局	0.019	0	0.0	0	0.0	0.055	0	
榴岡測定局	0.018	0	0.0	0	0.0	0.058	0	
苦竹測定局	0.014	0	0.0	0	0.0	0.039	0	

※上表七郷測定局等は、東北地方太平洋沖地震による浸水の影響はなかった

出典：公害関係資料集 平成 23 年度 (平成 22 年度測定結果) 仙台市環境局

長期的評価：年間の 1 日平均値のうち、高い方から 2% の範囲にあるもの (365 日の測定値がある場合、高い方から 7 日分の測定値) を除外した後の最高値を環境基準と比較して評価を行う。ただし、1 日平均値について環境基準を超える日が 2 日以上連続した場合は、環境基準を達成しなかったものとする。



出典：公害関係資料集 平成 23 年度 (平成 22 年度測定結果) 仙台市環境局

図 6.1.1-5 浮遊粒子状物質 (SPM) の年平均値の経年変化

イ 大気汚染に係る苦情の発生状況

重点調査範囲においては、大気汚染に係る苦情が1件発生している。

事業予定地における苦情は発生していない（仙台市への公文書開示請求結果による。調査対象年度は平成22年度）。

ウ 発生源の状況

（ア）概況調査地域

概況調査地域のうち、重点調査範囲における大気汚染防止法に基づく特定施設（ばい煙）の届出数は、表6.1.1-7に示すとおり、施設が128施設、事業所数が70事業所となっている。発生施設は、ボイラが90施設、金属溶解炉が1施設、乾燥炉が4施設、廃棄物焼却炉が1施設、ガスタービンが10施設、ディーゼル機関が22施設となっている。

粉じん発生施設の届出数は、表6.1.1-7に示すとおり、施設が6施設、事業所数が3事業所となっている。発生施設は堆積場が3施設、ベルトコンベアが3施設となっている。

宮城県公害防止条例に基づく特定施設（粉じん）は、表6.1.1-8に示すとおり、4事業所あり、動力打綿機及び動力混打綿機が2施設、チップ又はのこぎりくずの堆積場が3施設となっている。

表 6.1.1-7 大気汚染防止法に基づく特定施設届出状況

施設の種類の		仙台市届出数	
		施設数	事業所数
ばい煙発生施設	ボイラ	90	50
	金属溶解炉	1	1
	乾燥炉	4	2
	廃棄物焼却炉	1	1
	ガスタービン	10	9
	ディーゼル機関	22	16
	小計	128	70
粉じん発生施設	堆積場	3	3
	ベルトコンベア	3	1
	小計	6	3
計		134	73

出典：仙台市への公文書開示請求結果（平成23年3月31日現在）

注）ばい煙及び粉じんの発生施設の事業所数は、施設を複数所有する事業所もあるため、小計は合わない。

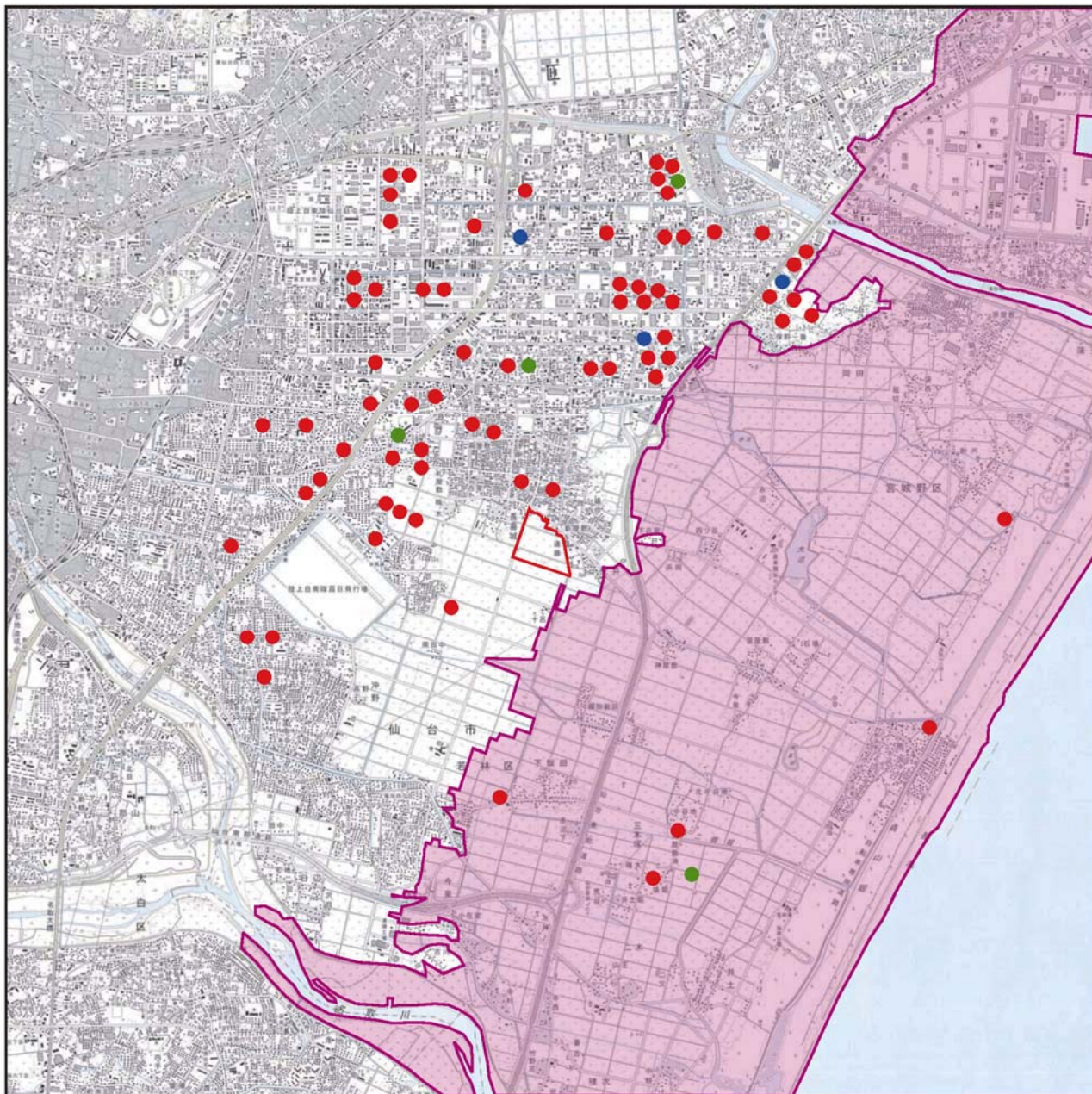
表 6.1.1-8 宮城県公害防止条例に基づく特定施設届出状況

施設の種類の		仙台市届出数	
		施設数	事業所数
粉じん発生施設	動力打綿機及び動力混打綿機	2	2
	チップ又はのこぎりくずの堆積場	3	2
	計	5	4

出典：仙台市への公文書開示請求結果（平成23年3月31日現在）

（イ）事業予定地

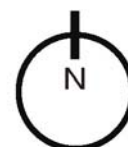
事業予定地には、大気汚染防止法に基づく特定施設（ばい煙）、大気汚染防止法に基づく特定施設（粉じん）、宮城県公害防止条例に基づく特定施設は存在しない。



※特定施設を町丁目の範囲に規則的にプロットした
 ※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ (2011.4.9)」を基に作成
 ※東北地方太平洋沖地震による浸水の影響があった特定施設がみられる

凡 例

- 事業予定地
- 重点調査範囲
- 大気汚染防止法に基づく特定施設 (ばい煙)
- 大気汚染防止法に基づく特定施設 (粉じん)
- 宮城県公害防止条例に基づく特定施設 (粉じん)
- 浸水区域



縮尺 1/60,000



図 6.1.1-6 大気汚染防止法に基づく特定施設図

エ 影響を受ける施設等の状況

事業予定地周辺において、大気質の変化により影響を受ける施設等は、調査、予測及び評価の調査地域や予測地域（事業予定地の境界より概ね 500m の範囲）より抽出し、表 6.1.1-9 及び図 6.1.1-7 に示すとおりである。

なお、仙台市荒井東土地区画整理事業環境影響評価書より、文化施設、行政施設、公園を追加した。

表 6.1.1-9 影響を受ける施設等

学 校	1	七郷小学校
	2	七郷中学校
幼 稚 園	1	七郷幼稚園
福祉施設	1	あっぷる保育園
	2	ニチイのきらめき仙台若林
	3	リハビリパーク仙台東（介護老人保健施設）
病 院		該当する施設はない
文化施設		七郷神社
行政施設	1	七郷市民センター
	2	上荒井公会堂
	3	中荒井公会堂
	4	下荒井公会堂
	5	長喜城公会堂
公 園	1	2・2・220 荒井 4 号公園
	2	2・2・223 荒井 7 号公園
	3	2・2・224 荒井 8 号公園
	4	1-W-166 長喜城公園
住 宅		丑ノ頭、遠藤、遠藤西、新屋敷、初田、堀口、堀添
		揚戸、大場伝、御散田、押口、小荒井東、十呂盤、十呂盤東、高屋敷、中在家、畑中、広瀬、広瀬東、広瀬前、福在家、舞台、南原田、矢取、矢取東

※上表施設等は、東北地方太平洋沖地震による浸水の影響はなかった

出典：学校：市立学校一覧 仙台市教育委員会、宮城県教育委員会ホームページ

幼稚園：宮城県私立学校名簿 宮城県私学文書課

病院：宮城県病院名簿：平成 22 年 10 月 1 日現在 宮城県医療整備課

福祉施設（高齢）：仙台市高齢企画課ホームページ

福祉施設（障害）：仙台市障害企画課ホームページ

文化施設：仙台市荒井東土地区画整理事業評価書

行政施設：仙台市荒井東土地区画整理事業評価書

公園：仙台市荒井東土地区画整理事業評価書

住宅（仙台市七郷中学校の通学区より仙台市若林区荒井に該当する小字を抽出）

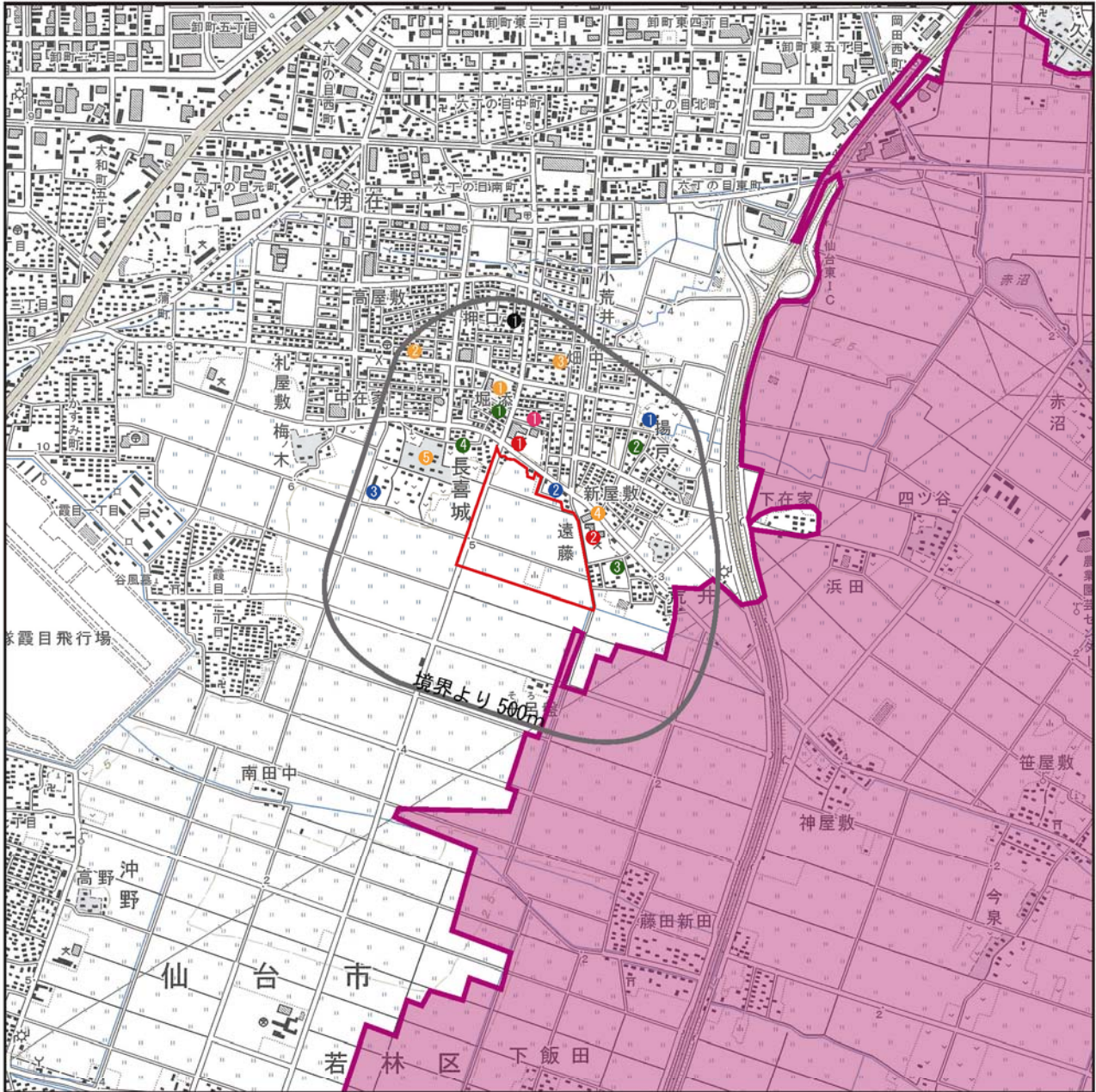
オ 大気質保全上の留意点

概況調査地域の大气質について、最寄りの一般環境測定局である七郷測定局の観測結果をみると、二酸化窒素（NO₂）、浮遊粒子状物質（SPM）では、環境基準を満たしている。光化学オキシダント（O₃）は、環境基準を超えた日数が 40 日程度発生している。

事業予定地から概ね 3 km の範囲には、大気汚染防止法に基づくばい煙の特定施設が 128 施設、粉じんの特定施設が 6 施設、宮城県公害防止条例に基づく特定施設（粉じん）が 5 施設あり、苦情は 1 件発生している。なお、事業予定地には特定施設はなく、苦情も発生していない。

保全上配慮が必要な施設は、事業予定地近傍の学校、幼稚園、福祉施設、文化施設、行政施設、公園及び事業予定地周辺の住宅がある。

本事業においては、工事による資材等の運搬、重機の稼働、供用による資材・製品・人等の運搬・輸送、事業により発生する自動車の走行に伴う排出ガスによる影響が考えられるため、保全上配慮が必要な施設への影響が最小となるよう留意する。

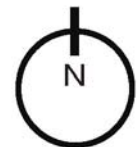


※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ (2011. 4. 9)」を基に作成

※凡例に示した施設については、東北地方太平洋沖地震による浸水の影響はなかった。

凡例

事業予定地 浸水区域



縮尺 1/25,000



学 校	1	七郷小学校
	2	七郷中学校
幼 稚 園	1	七郷幼稚園
福祉施設	1	あつぶる保育園
	2	ニチイきらめき仙台若林 (介護付有料老人ホーム)
	3	リハビリパーク仙台東(介護老人保健施設)
文化施設	1	七郷神社
行政施設	1	七郷市民センター
	2	上荒井公会堂
	3	中荒井公会堂
	4	下荒井公会堂
	5	長喜城公会堂
公 園	1	2・2・220 荒井 4 号公園
	2	2・2・223 荒井 7 号公園
	3	2・2・224 荒井 8 号公園
	4	1-W-166 長喜城公園

図 6. 1. 1-7 影響を受ける施設等の状況図

(3) 騒音

ア 騒音の状況

概況調査地域においては、一般国道4号、一般国道45号、県道仙台松島線、県道仙台南インター線、県道井土長町線、県道荒浜原町線、県道蒲生福田線、県道荒井荒町線、県道仙台塩竈線、市道館西町線、市道宮城野通線、市道新寺通線、市道川内南小泉線、市道元寺小路郡山線で騒音評価が行われている。

騒音評価区間図は図6.1.1-8に、評価結果は表6.1.1-10に示すとおりであり、昼間・夜間ともに環境基準を達成しているのは、一般国道4号(評価区間番号17、24)、県道井土長町線(評価区間番号9)、県道荒浜原町線(評価区間番号11、27、28)、県道蒲生福田線(評価区間番号13)、県道荒井荒町線(評価区間番号14、15、16、23)、市道宮城野通線(評価区間番号19)、市道川内南小泉線(評価区間番号21)、市道元寺小路郡山線(評価区間番号22)となっている。

なお、騒音に係る環境基準は表6.2.6-14(p.6-178参照)に、地域の類型指定の状況は図6.2.6-5(p.6-180参照)に示すとおりである。

また、自動車騒音の要請限度は表6.2.6-18(p.6-181参照)に、仙台市における区域の指定状況は表6.2.6-18(p.6-181参照)及び図6.2.6-6(p.6-182参照)に示すとおりである。

航空機騒音については、事業予定地の西側約1kmに位置する陸上自衛隊霞目飛行場周辺地域において、航空機騒音に係る環境基準の地域の類型指定(図6.2.6-5、p.6-180参照)を受けている。

概況調査地域における航空機騒音測定地点は図6.2.6-5(p.6-180参照)に、測定結果は表6.1.1-11に示すとおりであり、航空機騒音に係る環境基準は満足している。

なお、航空機騒音に係る環境基準は表6.2.6-16(p.6-179参照)に示すとおりである。

イ 騒音に係る苦情の発生状況

重点調査範囲においては、騒音に係る苦情が13件発生している。

事業予定地における苦情は発生していない(仙台市への公文書開示請求結果による。調査対象年度は平成22年度)。

表 6.1.1-10 道路に面する地域の騒音評価結果（平成 22 年度）

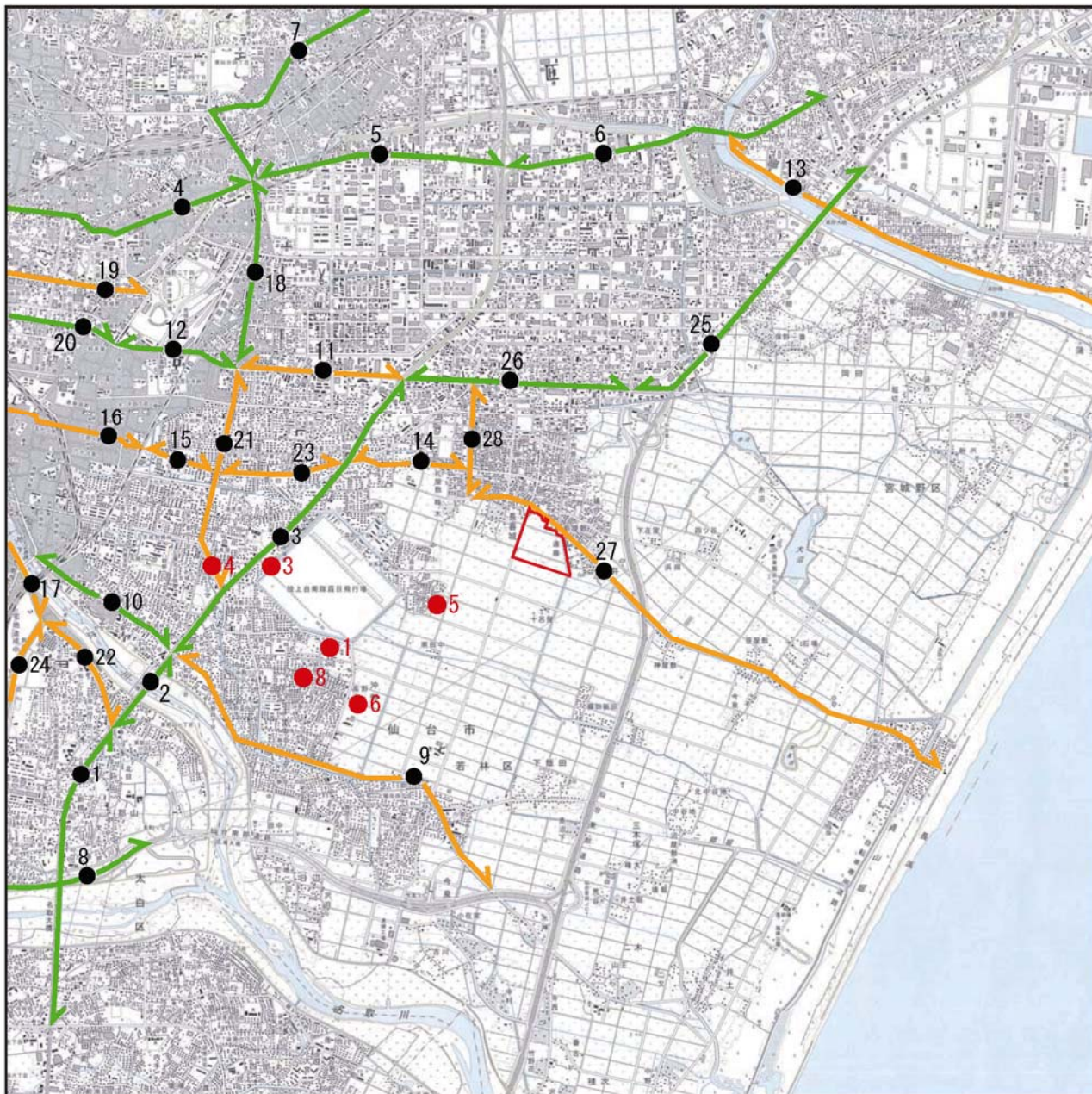
評価対象道路				騒音レベル 実測区間など					評価結果					
評価区 間番号	路線名	評価区 間の延 長	評価対 象住居 等戸数	環境基 準類型	環境基 準		等価騒 音レ ベル		環境基準達成状況					
					昼 間	夜 間	昼 間	夜 間	昼間・夜間 とも達成		昼間のみ達成		夜間のみ達成	
		(km)	(戸)		達成 率 (%)	達成 戸数 (戸)	達成 率 (%)	達成 戸数 (戸)	達成 率 (%)	達成 戸数 (戸)				
1	一般国道4号	3.0	270	C	60	50	70	67	89.3	241	8.9	24	0.0	0
2	一般国道4号	0.9	180	-	-	-	-	-	60.6	109	21.7	39	0.0	0
3	一般国道4号	3.3	671	-	-	-	-	-	99.9	670	0.1	1	0.0	0
4	一般国道45号	3.8	3957	C	60	50	68	64	98.8	3911	1.2	46	0.0	0
5	一般国道45号	2.3	920	-	-	-	-	-	71.8	661	8.4	77	0.0	0
6	一般国道45号	3.1	1541	-	-	-	-	-	99.4	1532	0.6	9	0.0	0
7	仙台松島線	3.9	1567	-	-	-	-	-	60.8	952	7.4	116	0.0	0
8	仙台南インター線	5.2	332	-	-	-	-	-	33.7	112	20.2	67	0.0	0
9	井土長町線	3.5	1100	-	-	-	-	-	100.0	1100	0.0	0	0.0	0
10	井土長町線	1.6	884	-	-	-	-	-	85.0	751	12.1	107	0.0	0
11	荒浜原町線	1.4	699	C	60	50	70	64	100.0	699	0.0	0	0.0	0
12	荒浜原町線	1.3	742	-	-	-	-	-	96.8	718	2.8	21	0.0	0
13	蒲生福田線	2.1	209	-	-	-	-	-	100.0	209	0.0	0	0.0	0
14	荒井荒町線	1.1	339	B	55	45	64	59	100.0	339	0.0	0	0.0	0
15	荒井荒町線	0.8	353	-	-	-	-	-	100.0	353	0.0	0	0.0	0
16	荒井荒町線	1.8	1613	-	-	-	-	-	100.0	1613	0.0	0	0.0	0
17	一般国道4号	1.3	635	C	60	50	63	59	100.0	635	0.0	0	0.0	0
18	館西町線	1.8	735	-	-	-	-	-	96.3	708	3.4	25	0.0	0
19	宮城野通線	1.5	814	-	-	-	-	-	100.0	814	0.0	0	0.0	0
20	新寺通線	1.3	1408	-	-	-	-	-	99.6	1403	0.0	0	0.0	0
21	川内南小泉線	2.1	845	B	55	45	67	58	100.0	845	0.0	0	0.0	0
22	元寺小路郡山線	1.2	833	-	-	-	-	-	100.0	833	0.0	0	0.0	0
23	荒井荒町線	1.2	710	B	55	45	68	61	100.0	710	0.0	0	0.0	0
24	一般国道4号	1.7	245	-	-	-	-	-	100.0	245	0.0	0	0.0	0
25	仙台塩釜線	2.7	125	-	-	-	-	-	6.4	8	3.2	4	4.0	5
26	仙台塩釜線	2.5	380	-	-	-	-	-	80.0	304	0.0	0	0.0	0
27	荒浜原町線	5.2	613	-	-	-	-	-	100.0	613	0.0	0	0.0	0
28	荒浜原町線	1.3	444	-	-	-	-	-	100.0	444	0.0	0	0.0	0

出典：平成 23 年版宮城県環境白書〈資料編〉（宮城県）

表 6.1.1-11 航空機騒音測定結果

地点	調査地点	地域 類型	調査年月日	調査日数	測定期間内 1日平均 飛行回数	測定期間内 平均 WECPNL	環境基準
1	若林区沖野7丁目(1)	I	H22.11.5~11.11	7日	132	68	70
3	若林区遠見塚東	II	H22.9.9~9.15	7日	63	66	75
4	若林区古城3丁目	II	H22.11.13~11.19	7日	8	53	75
5	若林区霞目2丁目	II	H22.9.1~9.7	7日	6	55	75
6	若林区沖野字高野南	II	H22.4.20~12.7	231日	29	58	75
8	若林区沖野7丁目(2)	I	H22.10.13~10.19	7日	72	59	70

出典：公害関係資料集（平成 22 年度測定結果）（仙台市環境局）



凡 例

- 事業予定地
- 評価区間番号
- 航空機騒音調査地点
- 達成区間
- 未達成区間

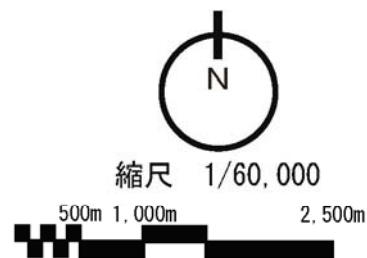


図 6.1.1-8 主要な道路及び騒音評価区間図

ウ 発生源の状況

(ア) 概況調査地域

概況調査地域のうち、重点調査範囲における騒音規制法に基づく特定施設は表 6.1.1-12 に示すとおりであり、送風機が最も多く、次いで空気圧縮機となっている。

また、宮城県公害防止条例に基づく特定施設は表 6.1.1-13 に示すとおりであり、バーナーが最も多く、次いでクーリングタワーとなっている。

表 6.1.1-12 騒音規制法に基づく特定施設

施設区分	施設名称	施設を設置する工場・事業場数
1N01D	法) 液圧プレス	4
1N01F	法) せん断機	2
1N02A	法) 空気圧縮機	16
1N02B	法) 送風機	48
1N03A	法) 破碎機	1
1N03B	法) 摩砕機	1
1N05A	法) コンクリートプラント	2
1N07B	法) チッパー	2
1N07C	法) 碎木機	1
1N07D	法) 帯のご盤	1
1N07E	法) 丸のご盤	1
1N07F	法) かな盤	1
1N09A	法) 印刷機械	5

※東北地方太平洋沖地震による浸水の影響があった特定施設がみられる

出典：仙台市への公文書開示請求結果（平成 23 年 3 月 31 日現在）

法) は騒音規制法を指す

表 6.1.1-13 宮城県公害防止条例に係る特定施設（騒音）

施設区分	施設名称	施設を設置する工場・事業場数
20109	条) プラスト	1
20704	条) 帯のご盤	1
20706	条) かな盤	1
20900	条) 印刷機械	7
21000	条) 合成樹脂用射出成形機	1
21200	条) ディーゼルエンジン	2
21300	条) クーリングタワー	38
21400	条) バーナー	50
21501	条) 動力打綿機	1
21701	条) ニューマチックハンマー	1
21801	条) 切断機	5

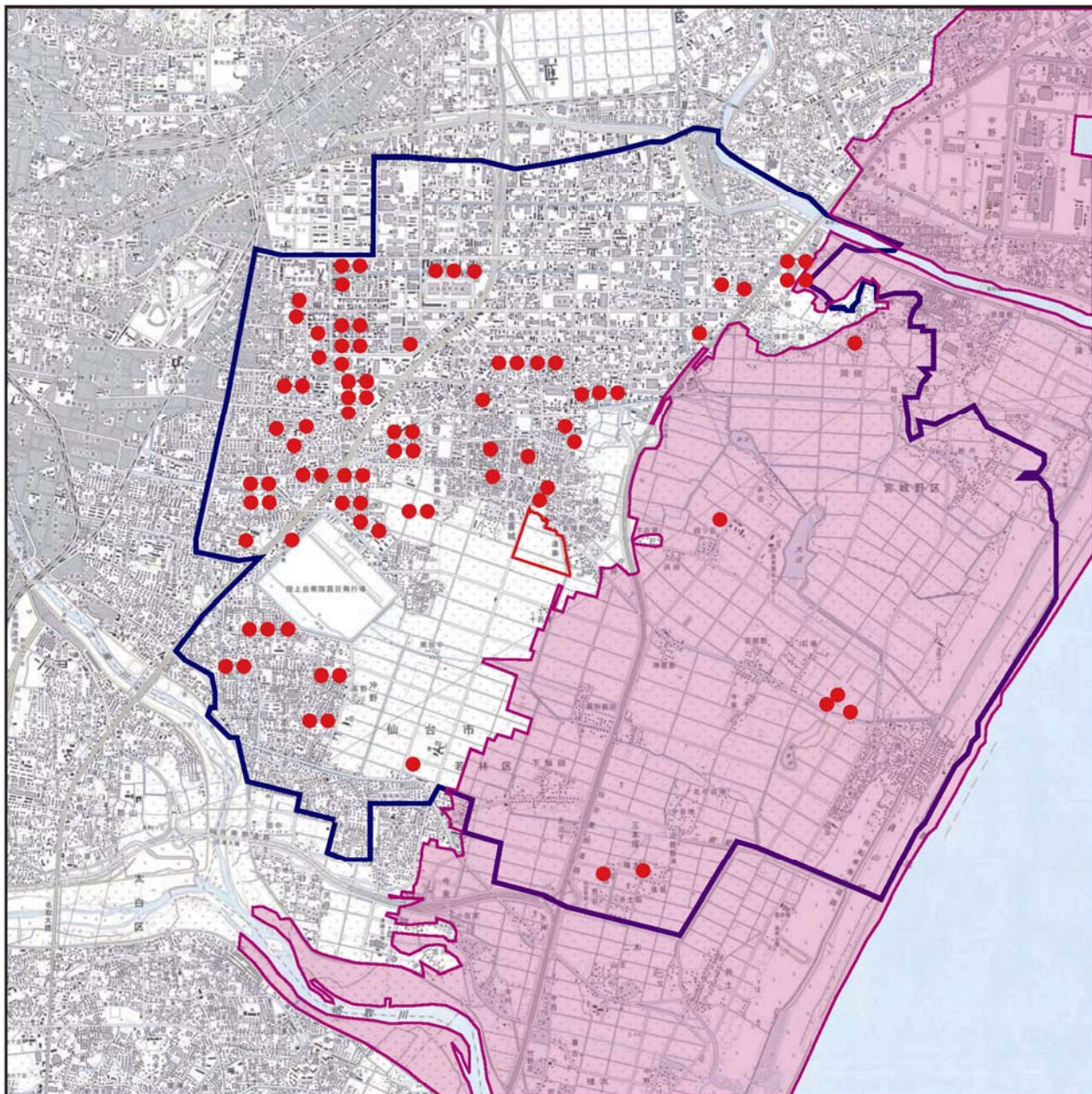
※東北地方太平洋沖地震による浸水の影響があった特定施設がみられる

出典：仙台市への公文書開示請求結果（平成 23 年 3 月 31 日現在）

条) は宮城県公害防止条例を指す

(イ) 事業予定地

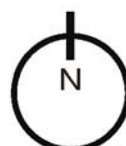
事業予定地には、騒音規制法に基づく特定施設や宮城県公害防止条例に基づく特定施設は存在しない。



※特定施設を町丁目の範囲に規則的にプロットした
 ※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ
 (2011.4.9)」を基に作成
 ※東北地方太平洋沖地震による浸水の影響があった特定施設がみられる

凡 例

- 事業予定地
- 重点調査範囲
- 特定施設
- 浸水区域



縮尺 1/60,000



図 6.1.1-9 騒音規制法に基づく特定施設図

エ 影響を受ける施設等の状況

事業予定地周辺において、騒音により影響を受ける施設等は、調査、予測及び評価の調査地域や予測地域（事業予定地の境界より概ね 200m の範囲）より抽出し、表 6.1.1-14 及び図 6.1.1-10 に示すとおりである。

なお、仙台市荒井東土地区画整理事業環境影響評価書より、文化施設、行政施設、公園を追加した。

表 6.1.1-14 影響を受ける施設等

学 校	1	七郷小学校
	2	七郷中学校
幼 稚 園	1	七郷幼稚園
福祉施設	1	ニチイのきらめき仙台若林
病 院		該当する施設はない
文化施設	1	該当する施設はない
行政施設	1	七郷市民センター
	2	下荒井公会堂
	3	長喜城公会堂
公 園	1	2・2・220 荒井 4 号公園
	2	2・2・224 荒井 8 号公園
	3	1-W-166 長喜城公園
住 宅		丑ノ頭、遠藤、遠藤西、新屋敷、初田、堀口、堀添

※上表施設等は、東北地方太平洋沖地震による浸水の影響はなかった

出典：学校：市立学校一覧 仙台市教育委員会、宮城県教育委員会ホームページ

幼稚園：宮城県私立学校名簿 宮城県私学文書課

病院：宮城県病院名簿：平成 22 年 10 月 1 日現在 宮城県医療整備課

福祉施設（高齢）：仙台市高齢企画課ホームページ

福祉施設（障害）：仙台市障害企画課ホームページ

文化施設：仙台市荒井東土地区画整理事業評価書

行政施設：仙台市荒井東土地区画整理事業評価書

公園：仙台市荒井東土地区画整理事業評価書

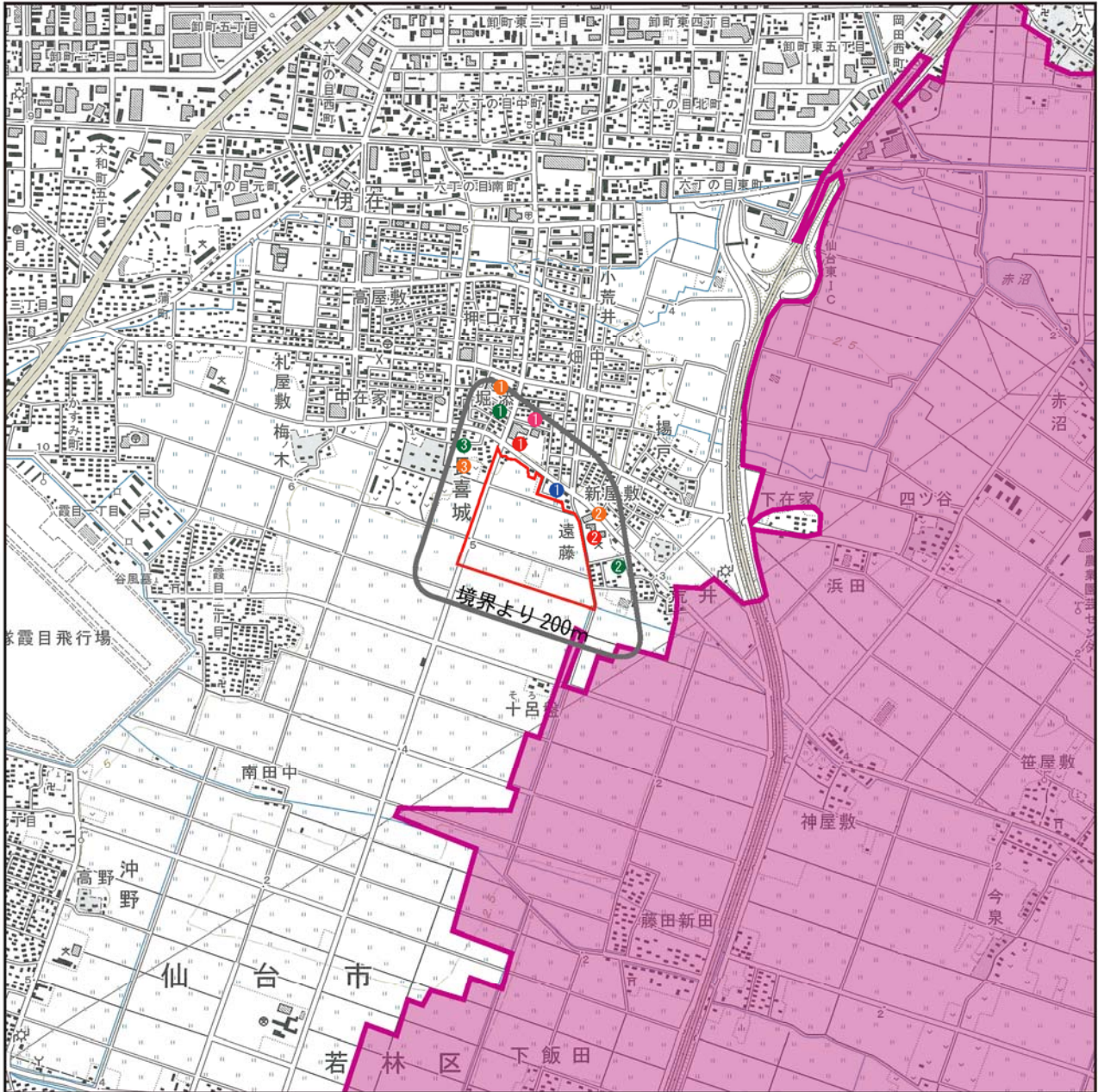
住宅（仙台市七郷中学校の通学区より仙台市若林区荒井に該当する小字を抽出）

オ 騒音防止上の留意点

事業予定地及びその周辺の騒音の状況は、発生源となる施設はなく、苦情も発生していない。

保全上配慮が必要な施設は、事業予定地近傍の学校、幼稚園、福祉施設、行政施設、公園及び事業予定地周辺の住宅がある。

本事業においては、工事による資材等の運搬、重機の稼働、供用による資材・製品・人等の運搬・輸送、事業により発生する自動車の走行に伴う騒音の影響が考えられるため、保全上配慮が必要な施設への影響が最小となるよう留意する。



※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ (2011.4.9)」を基に作成
 ※凡例に示した施設については、東北地方太平洋沖地震による浸水の影響はなかった。

凡例

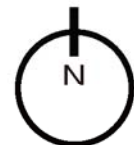


事業予定地

学 校	1	七郷小学校
	2	七郷中学校
幼 稚 園	1	七郷幼稚園
福祉施設	1	ニチイのきらめき仙台若林 (介護付有料老人ホーム)
行政施設	1	七郷市民センター
	2	下荒井公会堂
	3	長喜城公会堂
公 園	1	2・2・220 荒井4号公園
	2	2・2・224 荒井8号公園
	3	1-W-166 長喜城公園



浸水区域



縮尺 1/25,000



図 6.1.1-10 影響を受ける施設等の状況図 (騒音)

(4) 振動

ア 振動の状況

概況調査地域においては、国又は地方公共団体による定期的な振動調査は行われていない。

なお、仙台市における区域の区分指定は、図 6.2.6-7 (p.6-183 参照) に示すとおりである。

イ 振動に係る苦情の発生状況

重点調査範囲における苦情は発生していない（仙台市への公文書開示請求結果による。調査対象年度は平成 22 年度）。

ウ 発生源の状況

(ア) 概況調査地域

概況調査地域のうち、重点調査範囲における振動規制法に基づく特定施設は表 6.1.1-15 に示すとおりであり、圧縮機が最も多く、次いでせん断機となっている。

また、宮城県公害防止条例に基づく特定施設は表 6.1.1-16 に示すとおりであり、冷凍機が最も多くなっている。

表 6.1.1-15 振動規制法に基づく特定施設

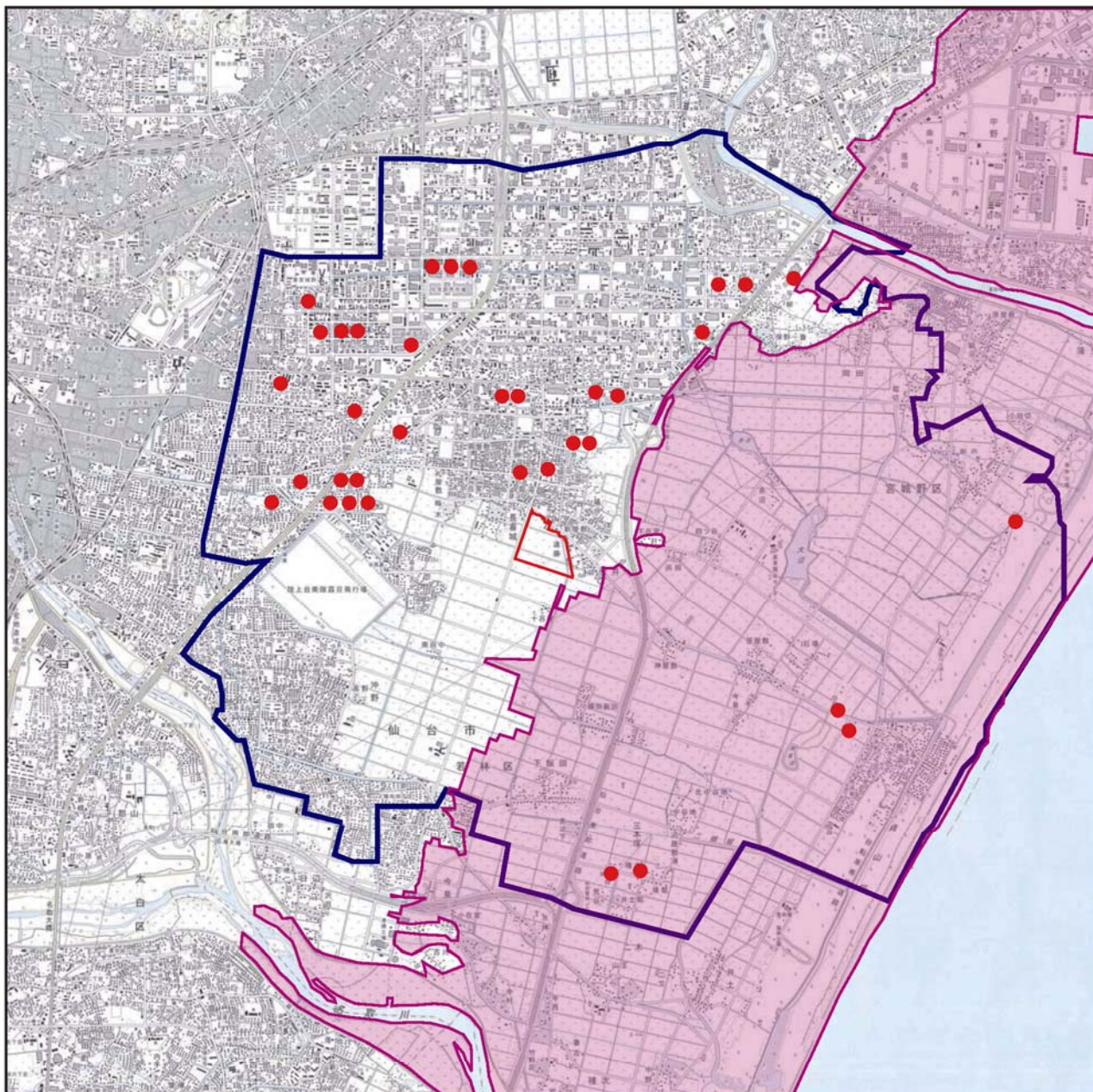
施設区分	施設名称	施設を設置する工場・事業場数
1V01A	法) 液圧プレス	4
1V01C	法) せん断機	6
1V02A	法) 圧縮機	18
1V03A	法) 破砕機	1
1V03B	法) 摩砕機	1
1V06B	法) チッパー	2
1V07A	法) 印刷機械	3

※東北地方太平洋沖地震による浸水の影響があった特定施設がみられる
出典：仙台市への公文書開示請求結果（平成 23 年 3 月 31 日現在）
法) は振動規制法を指す

表 6.1.1-16 宮城県公害防止条例に係る特定施設（振動）




施設区分	施設名称	施設を設置する工場・事業場数
20200	条) 圧縮機	1
20700	条) 印刷機械	6
20900	条) 合成樹脂練用ロール機	1
21200	条) ディーゼルエンジン	2
21300	条) 冷凍機	69

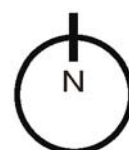
※東北地方太平洋沖地震による浸水の影響があった特定施設がみられる
出典：仙台市への公文書開示請求結果（平成 23 年 3 月 31 日現在）
条) は宮城県公害防止条例を指す



※特定施設を町丁目の範囲に規則的にプロットした
 ※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ
 (2011.4.9)」を基に作成
 ※東北地方太平洋沖地震による浸水の影響があった特定施設がみられる

凡 例

-  事業予定地
-  重点調査範囲
-  特定施設
-  浸水区域



縮尺 1/60,000



図 6.1.1-11 振動規制法に基づく特定施設図

(イ) 事業予定地

事業予定地には、振動規制法に基づく特定施設や宮城県公害防止条例に基づく特定施設は存在しない。

エ 影響を受ける施設等の状況等

振動により影響を受ける範囲は、騒音の影響を受ける範囲（p.6-17 参照）と同様とした。

オ 振動防止上の留意点

事業予定地及びその周辺の振動の状況は、発生源となる施設はなく、苦情も発生していない。

保全上配慮が必要な施設は、事業予定地近傍の学校、幼稚園、福祉施設、行政施設、公園及び事業予定地周辺の住宅がある。

本事業においては、工事による資材等の運搬、重機の稼働、供用による資材・製品・人等の運搬・輸送、事業により発生する自動車の走行に伴う振動の影響が考えられるため、保全上配慮が必要な施設への影響が最小となるよう留意する。

(5) 低周波音

ア 低周波音の状況

概況調査地域においては、国又は地方公共団体等による定期的な低周波調査は行われていない。

イ 低周波音に係る苦情の発生状況

概況調査地域には、トンネル、ダムは存在しないものの、高架道路（仙台東部道路）、工場等低周波音の発生の可能性のある振動規制法や宮城県公害防止条例に係る特定施設があるが、仙台市における平成 22 年度の低周波音に係る苦情は報告されていない。

ウ 発生源の状況

低周波音の発生源となりうる施設は、工場等のコンプレッサやボイラー等の機械類があり、騒音規制法や、宮城県公害防止条例に係る特定施設なども要因と考えられる（表 6.1.1-12、p.6-15 及び表 6.1.1-13、p.6-15 参照）。

エ 影響を受ける施設等の状況等

低周波音により影響を受ける範囲は、騒音の影響を受ける範囲（p.6-17 参照）と同等とした。

オ 低周波音防止上の留意点

事業予定地及びその周辺の低周波音の状況は、発生源となる施設はなく、苦情も発生していない。

保全上配慮が必要な施設は、事業予定地近傍の学校、幼稚園、福祉施設、行政施設、公園及び事業予定地周辺の住宅がある。

本事業においては、低周波音を発生させるおそれのある工事、施設の稼働は想定されないため、事業による影響は極めて少ない。

(6) 悪臭

ア 悪臭に係る苦情の発生状況

重点調査範囲においては、悪臭に係る苦情が3件発生している。

事業予定地における苦情は発生していない（仙台市への公文書開示請求結果による。調査対象年度は平成22年度）。

なお、悪臭を発生するおそれのある主要な発生源等は、事業予定地周辺の現地踏査では確認されなかった。

また、地域を特徴づける香り（自然の香りや生活・文化に密着した香り等当該地域を特徴づけたり、大切にすべき香り）なども確認されなかった。

イ 発生源の状況

概況調査地域及び事業予定地では、悪臭に係る苦情は発生していない。また、事業予定地周辺の現地踏査でも悪臭を発生させる施設や発生源は確認できなかった。

ウ 影響を受ける施設等の状況等

悪臭により影響を受ける範囲は、大気質の影響を受ける範囲（p.6-10 参照）と同等とした。

エ 悪臭防止上の留意点

事業予定地及びその周辺では、悪臭に係る苦情は発生していない。

保全上配慮が必要な施設は、事業予定地近傍の学校、幼稚園、福祉施設、文化施設、行政施設、公園及び事業予定地周辺の住宅がある。

本事業においては、悪臭を発生させるおそれのある工事、施設の稼働は想定されないため、事業による影響は極めて少ない。

6.1.2. 水環境

(1) 水質

ア 水質の状況

(ア) 生活環境の保全に関する項目

概況調査地域において、類型指定を受けている河川は、名取川（名取川河口より広瀬川分岐点まではB類型、広瀬川分岐点より上流はA類型）、旧策川（C類型）、広瀬川（B類型）、七北田川（七北田川河口より梅田川分岐点まではC類型、梅田川分岐点より上流はB類型）、梅田川（C類型）である。

高野川、南貞山運河、北貞山運河は類型指定を受けていない河川であり、霞目雨水幹線は下水道施設である。また、大沼は類型指定を受けていない。

生活環境項目の平成18年度から平成22年度における測定結果は表6.1.2-1(1)～(5)に、測定地点は図6.1.2-1（p.6-27参照）に示すとおりである。

なお、事業予定地には、類型指定を受けている河川はない。

表 6.1.2-1(1) 河川・湖沼・海域の水質測定結果（生活環境項目）

【平成18年度測定結果（平均値、BOD及びCODは75%値^注）】

水域名	調査地点名	環境基準	pH	DO (mg/L)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全リン (mg/L)
広瀬川	三橋	B	7.6	11	0.9	—	4	3.0E+04	—	0.56	0.023
七北田川	福田大橋	B	7.6	9.8	1.5	—	6	8.2E+03	—	1.1	0.069
B類型の環境基準			6.5～8.5	5以上	3以下	—	25以下	5,000以下	—	—	—
旧策川	旧策川最下流	C	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七北田川	高砂橋	C	7.6	9.2	1.2	—	6	1.1E+04	—	1.1	0.071
梅田川	大田見橋	C	8.2	12	1.2	—	3	7.5E+04	—	0.76	0.056
梅田川	福田橋	C	7.4	8.6	1.9	—	12	1.2E+05	—	1.6	0.096
C類型の環境基準			6.5～8.5	5以上	5以下	—	50以下	—	—	—	—
高野川	高野川最下流	—	7.6	9.9	2.9	—	19	2.3E+04	—	1.7	0.095
貞山運河	深沼橋	—	7.3	7.8	1.5	—	10	2.7E+04	—	0.88	0.087
大沼	大沼池出口	—	7.7	9.9	—	6.1	14	3.0E+04	—	1.0	0.11

※東北地方太平洋沖地震による浸水区域には、環境基準点高砂橋、水質測定地点大沼、深沼橋が含まれる
注) BOD及びCODについては、公共用水域における評価方法（環水管第52号 昭和52年による。以下同じ。）
出典：公害関係資料集 平成19年度（平成18年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-1(2) 河川・湖沼・海域の水質測定結果（生活環境項目）

【平成19年度測定結果（平均値、BOD及びCODは75%値）】

水域名	調査地点名	環境基準	pH	DO (mg/L)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全リン (mg/L)
広瀬川	三橋	B	7.5	11	0.8	—	4	3.3E+04	—	0.47	0.026
七北田川	福田大橋	B	7.5	10	1.4	—	5	4.2E+03	—	1.3	0.075
B類型の環境基準			6.5～8.5	5以上	3以下	—	25以下	5,000以下	—	—	—
旧策川	旧策川最下流	C	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七北田川	高砂橋	C	7.7	9.3	1.8	—	6	6.2E+03	—	1.0	0.070
梅田川	大田見橋	C	8.1	12	1.1	—	2	2.0E+04	—	0.68	0.054
梅田川	福田橋	C	7.5	8.8	2.4	—	12	3.0E+04	—	1.4	0.094
C類型の環境基準			6.5～8.5	5以上	5以下	—	50以下	—	—	—	—
高野川	高野川最下流	—	7.7	9.7	1.5	—	8	8.9E+03	—	2.7	0.076
貞山運河	深沼橋	—	7.3	8.0	1.1	—	10	5.7E+03	—	0.79	0.10
大沼	大沼池出口	—	7.7	10	—	6.3	11	6.1E+02	—	1.1	0.14

※東北地方太平洋沖地震による浸水区域には、環境基準点高砂橋、水質測定地点大沼、深沼橋が含まれる
出典：公害関係資料集 平成20年度（平成19年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-1(3) 河川・湖沼・海域の水質測定結果（生活環境項目）

【平成 20 年度測定結果（平均値、BOD及びCODは 75%値）】

水域名	調査地点名	環境基準	pH	DO (mg/L)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全リン (mg/L)
広瀬川	三橋	B	7.5	11	0.8	—	3	1.2E+04	—	0.72	0.034
七北田川	福田大橋	B	7.6	9.9	1.4	—	5	3.6E+03	—	1.1	0.074
B類型の環境基準			6.5~8.5	5以上	3以下	—	25以下	5,000以下	—	—	—
旧策川	旧策川最下流	C	7.2	10	1.1	—	5	1.6E+04	—	1.8	0.044
七北田川	高砂橋	C	7.6	9.1	1.3	—	7	6.5E+03	—	0.99	0.075
梅田川	大田見橋	C	8.1	12	1.2	—	3	2.5E+04	—	0.73	0.048
梅田川	福田橋	C	7.5	9.2	2.1	—	19	2.5E+04	—	1.7	0.11
C類型の環境基準			6.5~8.5	5以上	5以下	—	50以下	—	—	—	—
高野川	高野川最下流	—	7.5	9.3	1.4	—	15	1.0E+04	—	2.2	0.096
貞山運河	深沼橋	—	7.5	8.5	1.2	—	8	1.4E+04	—	0.89	0.086
大沼	大沼池出口	—	7.7	10	—	11	12	1.3E+04	—	1.3	0.14

※東北地方太平洋沖地震による浸水区域には、環境基準点高砂橋、水質測定地点大沼、深沼橋が含まれる
出典：公害関係資料集 平成 21 年度（平成 20 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-1(4) 河川・湖沼・海域の水質測定結果（生活環境項目）

【平成 21 年度測定結果（平均値、BOD及びCODは 75%値）】

水域名	調査地点名	環境基準	pH	DO (mg/L)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全リン (mg/L)
広瀬川	三橋	B	7.7	12	0.8	—	3	1.8E+04	—	0.58	0.053
七北田川	福田大橋	B	7.7	10	2.0	—	6	2.6E+03	—	0.82	0.076
B類型の環境基準			6.5~8.5	5以上	3以下	—	25以下	5,000以下	—	—	—
旧策川	旧策川最下流	C	7.6	12	1.1	—	4	3.1E+04	—	1.1	0.040
七北田川	高砂橋	C	7.8	9.4	2.5	—	6	2.4E+03	—	0.79	0.073
梅田川	大田見橋	C	8.2	12	1.1	—	2	1.2E+04	—	0.53	0.043
梅田川	福田橋	C	7.5	9.2	2.6	—	16	1.5E+04	—	1.0	0.10
C類型の環境基準			6.5~8.5	5以上	5以下	—	50以下	—	—	—	—
高野川	高野川最下流	—	7.5	9.0	2.0	—	17	8.9E+03	—	1.0	0.079
貞山運河	深沼橋	—	7.5	7.7	1.5	—	7	1.4E+04	—	0.72	0.093
大沼	大沼池出口	—	8.0	11	—	10	14	8.9E+03	—	1.5	0.096

※東北地方太平洋沖地震による浸水区域には、環境基準点高砂橋、水質測定地点大沼、深沼橋が含まれる
出典：公害関係資料集 平成 22 年度（平成 21 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-1(5) 河川・湖沼・海域の水質測定結果（生活環境項目）

【平成 22 年度測定結果（平均値、BOD及びCODは 75%値）】

水域名	調査地点名	環境基準	pH	DO (mg/L)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全リン (mg/L)
広瀬川	三橋	B	7.5	11	0.9	—	2	1.7E+04	—	0.74	0.040
七北田川	福田大橋	B	7.8	10	1.5	—	5	2.3E+03	—	0.79	0.084
B類型の環境基準			6.5~8.5	5以上	3以下	—	25以下	5,000以下	—	—	—
旧策川	旧策川最下流	C	7.5	12	1.0	—	6	1.2E+04	—	1.3	0.037
七北田川	高砂橋	C	7.7	9.3	1.4	—	6	4.0E+03	—	0.79	0.078
梅田川	大田見橋	C	8.1	12	0.8	—	2	9.8E+03	—	0.52	0.034
梅田川	福田橋	C	7.6	9.8	1.5	—	10	1.1E+04	—	0.96	0.081
C類型の環境基準			6.5~8.5	5以上	5以下	—	50以下	—	—	—	—
高野川	高野川最下流	—	7.5	9.1	1.2	—	11	7.7E+03	—	1.1	0.064
貞山運河	深沼橋	—	7.4	7.9	1.7	—	12	1.9E+04	—	0.90	0.10
大沼	大沼池出口	—	8.0	11	—	13	15	1.4E+04	—	1.4	0.098

※東北地方太平洋沖地震による浸水区域には、環境基準点高砂橋、水質測定地点大沼、深沼橋が含まれる
出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

霞目雨水幹線の水質については、(仮称) 仙台市荒井東土地区画整理事業環境影響評価書(平成 21 年 8 月)に記載の内容を整理した。

霞目雨水幹線の浮遊物質量は 9 mg/L~83 mg/L、流量は 0.17 m³/s~2.28 m³/s であった。

【参考】 霞目雨水幹線の水質調査結果

調査季		浮遊物質量(mg/L)	流量(m ³ /s)
平水時	春季	9	0.24
	夏季	25	0.17
	秋季	25	0.65
	冬季	13	0.12
増水時	第 1 回	52	2.28
	第 2 回	83	0.76
	第 3 回	68	0.28

出典：(仮称) 仙台市荒井東土地区画整理事業 環境影響評価書

平成 21 年 8 月 仙台市荒井東土地区画整理組合設立準備委員会

備考：平水時の調査は以下のとおりである。

- ・春季(平成 17 年 5 月 27 日)
- ・夏季(平成 17 年 8 月 31 日)
- ・秋季(平成 17 年 11 月 8 日)
- ・冬季(平成 18 年 2 月 18 日)

増水時については、第 1、2 回は降雨後の濁水の状況を、第 3 回は融雪時の濁水の状況を把握した。増水時の仙台管区气象台における降雨量は以下のとおりである。

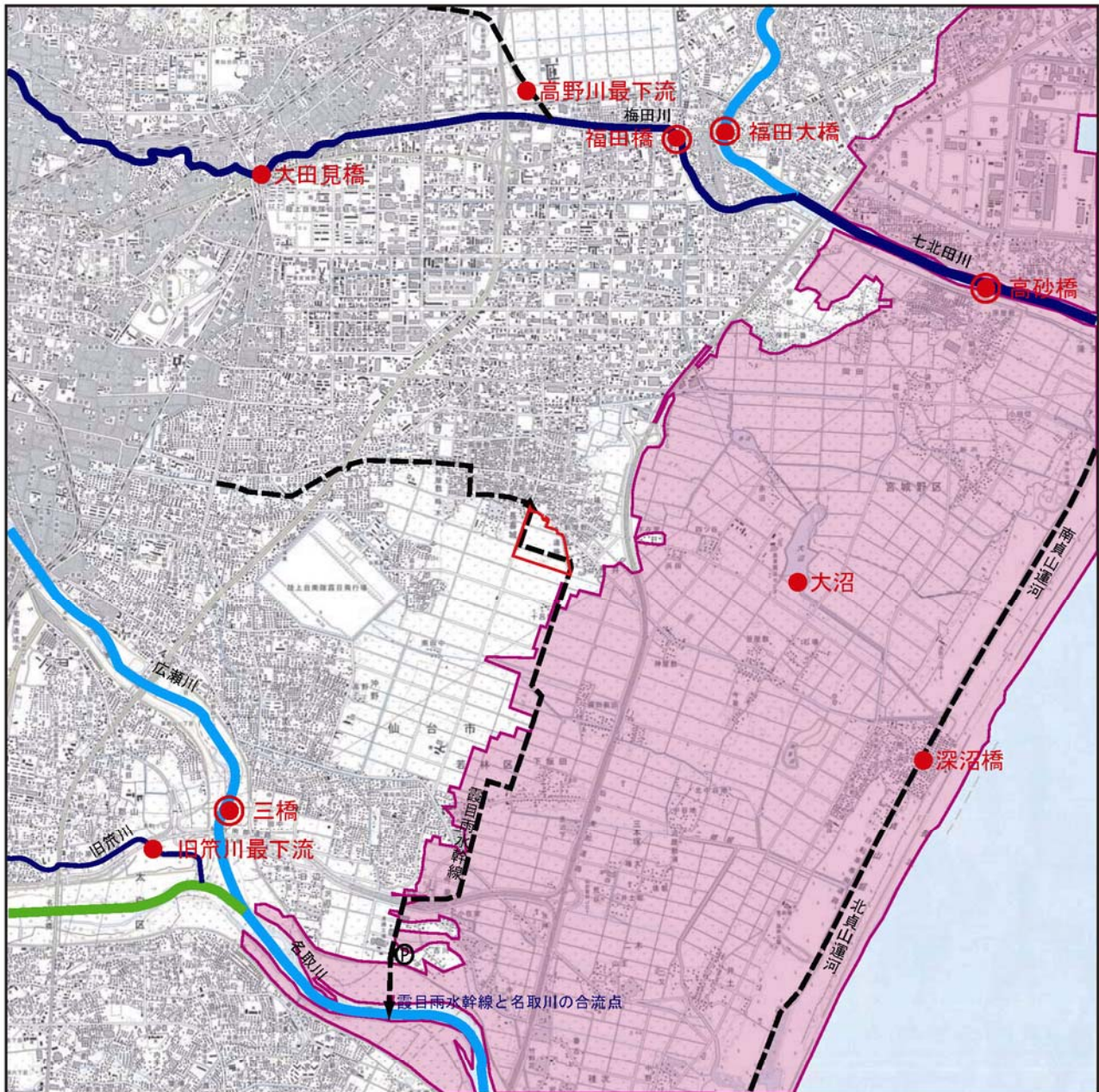
- ・第 1 回：平成 17 年 7 月 26 日 64.5 mm/日 最大 1 時間値 17.5 mm
- ・第 2 回：平成 17 年 8 月 26 日 21.5 mm/日 最大 1 時間値 13.0 mm
- ・第 3 回：平成 18 年 2 月 2 日(前日の大雪時) 15.0 mm/日 最大 1 時間値 3.0 mm

(イ) 人の健康の保護に関する項目

概況調査地域において、人の健康の保護に関する項目に係る定期的な水質調査は、表 6.1.2-2~5 に示すとおり、名取川(名取橋、閑上大橋)、旧笹川(旧笹川最下流)、広瀬川(三橋)、七北田川(福田大橋、高砂橋)、梅田川(大田見橋、福田橋)、高野川(高野川最下流)、貞山運河(深沼橋)、大沼(大沼池出口)で行われている。

人の健康の保護に関する環境基準は表 6.2.6-8(p.6-170 参照)のとおりである。

なお、事業予定地には、人の健康の保護に関する項目に係る定期的な水質調査は行われていない。



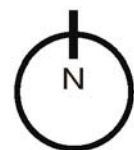
図枠が概況調査の範囲

※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ (2011.4.9)」を基に作成

※浸水区域には、環境基準点高砂橋、水質測定地点大沼、深沼橋が含まれる

凡 例

- 事業予定地
- 水質測定地点
- 環境基準点
- A 類型
- B 類型
- C 類型
- 環境基準のない河川・水路
- 浸水区域



縮尺 1/60,000



図 6.1.2-1 水質測定地点図 (生活環境項目)

表 6.1.2-2 水質測定結果（健康項目）

【平成 18 年度測定結果（平均値）】

単位：mg/L

河川名	名取川	名取川	旧笹川	広瀬川	七北田川	七北田川	梅田川	梅田川	高野川	貞山運河	大沼	環境基準
項目	名取橋	閑上大橋	旧笹川 最下流	三橋	福田大橋	高砂橋	大田見橋	福田橋	高野川 最下流	深沼橋	大沼池 出口	
カドミウム	<0.001	<0.001	—	<0.001	<0.001	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	0.003 以下
全シアン	ND	ND	—	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	—	検出されないこと
鉛	<0.005	<0.005	—	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	—	0.01 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	—	<0.02	—	<0.02	—	0.05 以下
砒素	0.005	<0.005	—	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	0.006	—	0.01 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	0.0005 以下
アルキル水銀	—	—	—	—	ND	ND	—	ND	—	ND	—	検出されないこと
PCB	—	ND	—	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	—	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.02 以下
四塩化炭素	<0.0002	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	<0.0002	—	<0.0002	—	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	—	—	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	<0.0004	—	<0.0004	—	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	—	—	<0.004	<0.004	<0.004	—	<0.004	—	<0.004	—	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	—	—	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	<0.0006	—	<0.0006	—	0.006 以下
トリクロロエチレン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.03 以下
テトラクロロエチレン	<0.0005	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	0.01 以下
1,3-ジクロロプロパン	<0.0002	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	<0.0002	—	<0.0002	—	0.002 以下
チウラム	<0.0006	—	—	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	<0.0006	—	<0.0006	—	0.006 以下
シマジン	<0.0003	—	—	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	<0.0003	—	<0.0003	—	0.003 以下
チオベンカルブ	<0.001	—	—	<0.001	<0.001	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	0.02 以下
ベンゼン	<0.001	—	—	<0.001	<0.001	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	0.01 以下
セレン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.01 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	0.59	—	—	0.45	0.77	0.69	0.54	0.95	1.2	0.46	0.17	10 以下
ふっ素	<0.08	—	—	<0.08	—	—	—	—	—	—	—	0.8 以下
ほう素	0.11	—	—	0.07	—	—	—	—	—	—	—	1 以下
1,4-ジオキサン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05 以下

出典：公害関係資料集 平成 19 年度（平成 18 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-3 水質測定結果（健康項目）

【平成 19 年度測定結果(平均値)】

単位：mg/L

河川名	名取川	名取川	旧笹川	広瀬川	七北田川	七北田川	梅田川	梅田川	高野川	貞山運河	大沼	環境基準
項目	名取橋	閑上大橋	旧笹川 最下流	三橋	福田大橋	高砂橋	大田見橋	福田橋	高野川 最下流	深沼橋	大沼池 出口	
カドミウム	<0.001	<0.001	—	<0.001	<0.001	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	0.003 以下
全シアン	ND	ND	—	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	—	検出されないこと
鉛	<0.005	<0.005	—	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	—	0.01 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	—	<0.02	—	<0.02	—	0.05 以下
砒素	0.006	<0.005	—	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	0.007	—	0.01 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	0.0005 以下
アルキル水銀	—	—	—	—	ND	ND	—	ND	—	ND	—	検出されないこと
PCB	—	ND	—	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	—	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.02 以下
四塩化炭素	<0.0002	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	<0.0002	—	<0.0002	—	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	—	—	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	<0.0004	—	<0.0004	—	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	—	—	<0.004	<0.004	<0.004	—	<0.004	—	<0.004	—	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	—	—	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	<0.0006	—	<0.0006	—	0.006 以下
トリクロロエチレン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.03 以下
テトラクロロエチレン	<0.0005	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	<0.0002	—	<0.0002	—	0.002 以下
チウラム	<0.0006	—	—	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	<0.0006	—	<0.0006	—	0.006 以下
シマジン	<0.0003	—	—	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	<0.0003	—	<0.0003	—	0.003 以下
チオベンカルブ	<0.001	—	—	<0.001	<0.001	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	0.02 以下
ベンゼン	<0.001	—	—	<0.001	<0.001	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	0.01 以下
セレン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.01 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	0.57	—	—	0.33	0.82	0.61	0.50	0.78	1.4	0.35	0.16	10 以下
ふっ素	<0.08	—	—	<0.08	—	—	—	—	—	—	—	0.8 以下
ほう素	0.20	—	—	0.09	—	—	—	—	—	—	—	1 以下
1,4-ジオキサン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05 以下

出典：公害関係資料集 平成 20 年度（平成 19 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-4 水質測定結果（健康項目）

【平成 20 年度測定結果(平均値)】

単位：mg/L

河川名	名取川	名取川	旧笹川	広瀬川	七北田川	七北田川	梅田川	梅田川	高野川	貞山運河	大沼	環境基準
項目	名取橋	閑上大橋	旧笹川 最下流	三橋	福田大橋	高砂橋	大田見橋	福田橋	高野川 最下流	深沼橋	大沼池 出口	
カドミウム	<0.001	<0.001	—	<0.001	<0.001	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	0.003 以下
全シアン	ND	ND	—	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	—	検出され ないこと
鉛	<0.005	<0.005	—	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	—	0.01 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	—	<0.02	—	<0.02	—	0.05 以下
砒素	<0.005	<0.005	—	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	0.006	—	0.01 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	0.0005 以 下
アルキル水銀	—	—	—	—	ND	ND	—	ND	—	ND	—	検出され ないこと
PCB	—	ND	—	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	—	検出され ないこと
ジクロロメタン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.02 以下
四塩化炭素	<0.0002	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	<0.0002	—	<0.0002	—	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	—	—	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	<0.0004	—	<0.0004	—	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	—	—	<0.004	<0.004	<0.004	—	<0.004	—	<0.004	—	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	—	—	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	<0.0006	—	<0.0006	—	0.006 以下
トリクロロエチレン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.03 以下
テトラクロロエチレン	<0.0005	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	<0.0002	—	<0.0002	—	0.002 以下
チウラム	<0.0006	—	—	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	<0.0006	—	<0.0006	—	0.006 以下
シマジン	<0.0003	—	—	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	<0.0003	—	<0.0003	—	0.003 以下
チオベンカルブ	<0.001	—	—	<0.001	<0.001	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	0.02 以下
ベンゼン	<0.001	—	—	<0.001	<0.001	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	0.01 以下
セレン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.01 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	0.44	—	1.5	0.54	0.67	0.58	0.49	0.83	1.2	0.43	0.31	10 以下
ふっ素	<0.08	—	<0.08	<0.08	—	—	—	—	—	—	—	0.8 以下
ほう素	0.11	—	0.08	0.07	—	—	—	—	—	—	—	1 以下
1,4-ジオキサン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05 以下

出典：公害関係資料集 平成 21 年度（平成 20 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-5 水質測定結果（健康項目）

【平成 21 年度測定結果(平均値)】

単位：mg/L

河川名	名取川	名取川	旧笹川	広瀬川	七北田川	七北田川	梅田川	梅田川	高野川	貞山運河	大沼	環境基準
項目	名取橋	閑上大橋	旧笹川 最下流	三橋	福田大橋	高砂橋	大田見橋	福田橋	高野川 最下流	深沼橋	大沼池 出口	
カドミウム	<0.001	<0.001	—	<0.001	<0.001	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	0.003 以下
全シアン	ND	ND	—	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	—	検出されないこと
鉛	<0.005	<0.005	—	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	—	0.01 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	—	<0.02	—	<0.02	—	0.05 以下
砒素	0.006	<0.005	—	<0.005	<0.005	<0.005	—	0.005	—	0.005	—	0.01 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	0.0005 以下
アルキル水銀	—	—	—	—	ND	ND	—	ND	—	ND	—	検出されないこと
PCB	—	ND	—	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	—	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.02 以下
四塩化炭素	<0.0002	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	<0.0002	—	<0.0002	—	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	—	—	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	<0.0004	—	<0.0004	—	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	—	—	<0.004	<0.004	<0.004	—	<0.004	—	<0.004	—	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	—	—	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	<0.0006	—	<0.0006	—	0.006 以下
トリクロロエチレン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.03 以下
テトラクロロエチレン	<0.0005	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	<0.0002	—	<0.0002	—	0.002 以下
チウラム	<0.0006	—	—	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	<0.0006	—	<0.0006	—	0.006 以下
シマジン	<0.0003	—	—	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	<0.0003	—	<0.0003	—	0.003 以下
チオベンカルブ	<0.001	—	—	<0.001	<0.001	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	0.02 以下
ベンゼン	<0.001	—	—	<0.001	<0.001	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	0.01 以下
セレン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.01 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	0.39	—	0.83	0.44	0.51	0.40	0.33	0.49	0.67	0.32	0.22	10 以下
ふっ素	<0.08	—	<0.08	<0.08	—	—	—	—	—	—	—	0.8 以下
ほう素	0.16	—	0.09	0.08	—	—	—	—	—	—	—	1 以下
1,4-ジオキサン	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	—	—	—	0.05 以下

出典：公害関係資料集 平成 22 年度（平成 21 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-6 水質測定結果（健康項目）

【平成 22 年度測定結果（平均値）】

単位：mg/L

河川名	名取川	名取川	旧笹川	広瀬川	七北田川	七北田川	梅田川	梅田川	高野川	貞山運河	大沼	環境基準
項目	名取橋	閑上大橋	旧笹川 最下流	三橋	福田大橋	高砂橋	大田見橋	福田橋	高野川 最下流	深沼橋	大沼池 出口	
カドミウム	<0.001	<0.001	—	<0.001	<0.001	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	0.003 以下
全シアン	ND	ND	—	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	—	検出されないこと
鉛	<0.005	<0.005	—	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	—	0.01 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	—	<0.02	<0.02	<0.02	—	<0.02	—	<0.02	—	0.05 以下
砒素	0.005	<0.005	—	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	0.007	—	0.01 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	0.0005 以下
アルキル水銀	—	—	—	—	ND	ND	—	ND	—	ND	—	検出されないこと
PCB	—	ND	—	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	—	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.02 以下
四塩化炭素	<0.0002	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	<0.0002	—	<0.0002	—	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	—	—	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	<0.0004	—	<0.0004	—	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	—	—	<0.004	<0.004	<0.004	—	<0.004	—	<0.004	—	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	—	—	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	<0.0006	—	<0.0006	—	0.006 以下
トリクロロエチレン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.03 以下
テトラクロロエチレン	<0.0005	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	—	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	<0.0002	—	<0.0002	—	0.002 以下
チウラム	<0.0006	—	—	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	<0.0006	—	<0.0006	—	0.006 以下
シマジン	<0.0003	—	—	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	<0.0003	—	<0.0003	—	0.003 以下
チオベンカルブ	<0.001	—	—	<0.001	<0.001	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	0.02 以下
ベンゼン	<0.001	—	—	<0.001	<0.001	<0.001	—	<0.001	—	<0.001	—	0.01 以下
セレン	<0.002	—	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	<0.002	—	<0.002	—	0.01 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	0.50	—	1.1	0.51	0.52	0.46	0.35	0.60	0.85	0.45	0.28	10 以下
ふっ素	<0.08	—	0.08	<0.08	—	—	—	—	—	—	—	0.8 以下
ほう素	0.24	—	0.07	0.14	—	—	—	—	—	—	—	1 以下
1,4-ジオキサン	—	<0.005	—	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	—	0.05 以下

出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

イ 水質汚濁に係る苦情の発生状況

重点調査範囲における水質に係る苦情は発生していない（仙台市への開示請求結果による。調査年度は平成 22 年度）。

ウ 発生源の状況

（ア）概況調査地域

【水質汚濁防止法に基づく特定施設】

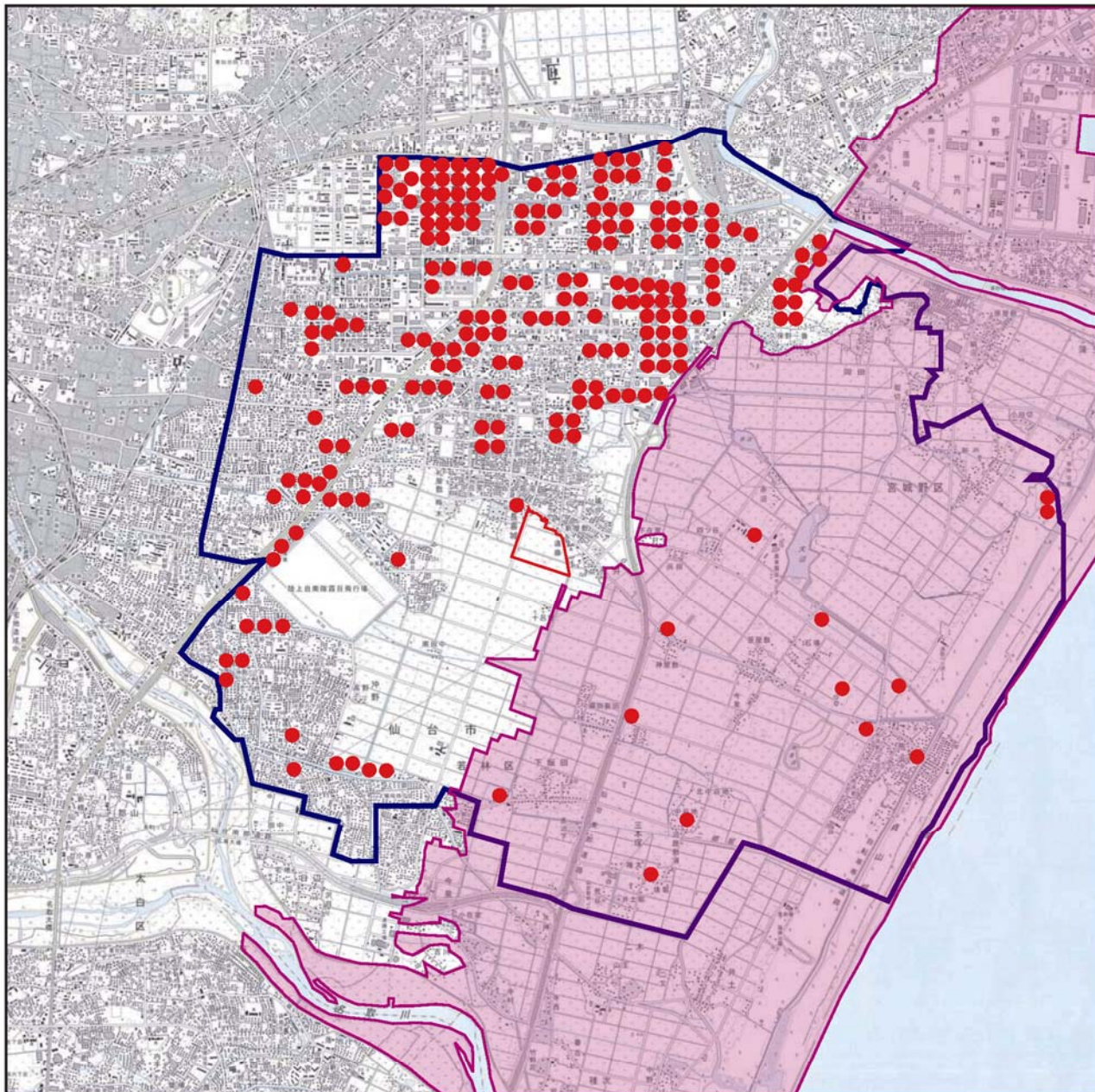
概況調査地域のうち、重点調査範囲における水質汚濁防止法に基づく特定施設保有事業場は表 6.1.2-7 に示すとおり、自動式車両洗浄施設が最も多く、次いで新聞業、出版業、印刷業又は製版業となっている。

表 6.1.2-7 水質汚濁防止法による特定施設保有事業場

施設区分	施設の種類	特定施設保有事業場
2	畜産食料品製造業	4
3	水産食料品製造業	4
4	野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業	3
5	みそ、しょう油、食用アミノ酸、グルタミン酸ソーダ、ソース又は食酢の製造業	1
8	パン若しくは菓子の製造業又は製あん業	1
10	飲料製造業	2
11	動物系飼料又は有機質肥料の製造業	2
16	めん類製造業	1
17	豆腐又は煮豆の製造業	5
19	紡績業又は繊維製品の製造業若しくは加工業	1
23 の 2	新聞業、出版業、印刷業又は製版業	26
51 の 2	自動車用タイヤ若しくは自動車用チューブの製造業、ゴムホース製造業、工業用ゴム製品製造業（防振ゴム製造業を除く。）、更生タイヤ製造業又はゴム板製造業	1
53	ガラス又はガラス製品の製造業	4
55	生コンクリート製造業	6
65	酸又はアルカリによる表面処理施設	5
66	電気めっき施設	1
66 の 2	旅館業	5
66 の 4	弁当仕出屋又は弁当製造業	5
66 の 5	飲食店	5
66 の 6	そば店、うどん店、すし店のほか、喫茶店その他の通常主食と認められる食事を提供しない飲食店	1
67	洗たく業	22
68	写真現像業	8
69	と畜業又は死亡獣畜取扱業	1
69 の 2	中央卸売市場	1
70 の 2	自動車分解整備事業	6
71	自動式車両洗浄施設	84
71 の 2	科学技術に関する研究、試験、検査又は専門教育を行う事業場で環境省令で定めるもの	7
71 の 4	産業廃棄物処理施設	6
72	し尿処理施設	6
74	特定事業場から排出される水の処理施設	1

※東北地方太平洋沖地震による浸水の影響があった特定施設保有事業場がみられる

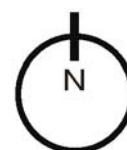
出典：仙台市への公文書開示請求結果（平成 23 年 3 月 31 日現在）



※特定施設を町丁目の範囲に規則的にプロットした
 ※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ (2011.4.9)」を基に作成
 ※東北地方太平洋沖地震による浸水の影響があった特定施設保有事業場がみられる

凡 例

- 事業予定地
- 重点調査範囲
- 特定施設
- 浸水区域



縮尺 1/60,000



図 6.1.2-2 水質汚濁防止法に基づく特定施設図

【下水道法に基づく特定事業場】

重点調査範囲における下水道法に基づく特定事業場は表 6.1.2-8 に示すとおりであり、自動式車両洗浄施設が最も多く、次いで新聞業、出版業、印刷業又は製版業となっている。

表 6.1.2-8 下水道法による特定事業場

施設区分	施設名称	特定事業場数
2	畜産食料品製造業	3
3	水産食料品製造業	5
4	野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業	3
5	みそ、しょう油、食用アミノ酸、グルタミン酸ソーダ、ソース又は食酢の製造業	1
8	パン若しくは菓子の製造業又は製あん業	1
10	飲料製造業	2
16	めん類製造業	1
17	豆腐又は煮豆の製造業	4
19	紡績業又は繊維製品の製造業若しくは加工業	1
23 の 2	新聞業、出版業、印刷業又は製版業	34
51 の 2	自動車用タイヤ若しくは自動車用チューブの製造業、ゴムホース製造業、工業用ゴム製品製造業（防振ゴム製造業を除く）、更生タイヤ製造業又はゴム板製造業	1
53	ガラス又はガラス製品の製造業	2
55	生コンクリート製造業	3
63	金属製品製造業又は機械器具製造業（武器製造業を含む）	1
65	酸又はアルカリによる表面処理施設	5
66	電気めっき施設	3
66 の 4	総床面積が 360 m ² 以上の弁当仕出屋又は弁当製造業	4
66 の 5	総床面積が 420 m ² 以上の飲食店	2
66 の 6	総床面積が 630 m ² 以上のそば店、うどん店、すし店のほか、喫茶店その他の通常主食と認められる食事を提供しない飲食店	2
67	洗たく業	18
68	写真現像業	3
69	と畜業又は死亡獣畜取扱業	1
69 の 2	中央卸売市場	1
70 の 2	自動車分解整備事業	7
71	自動式車両洗浄施設	61
71 の 2	科学技術に関する研究、試験、検査又は専門教育を行う事業場	10
71 の 4	産業廃棄物処理施設	2
74	特定事業場から排出される水の処理施設	1

※東北地方太平洋沖地震による浸水の影響があった特定事業場がみられる
出典：仙台市への公文書開示請求結果（平成 23 年 3 月 31 日現在）

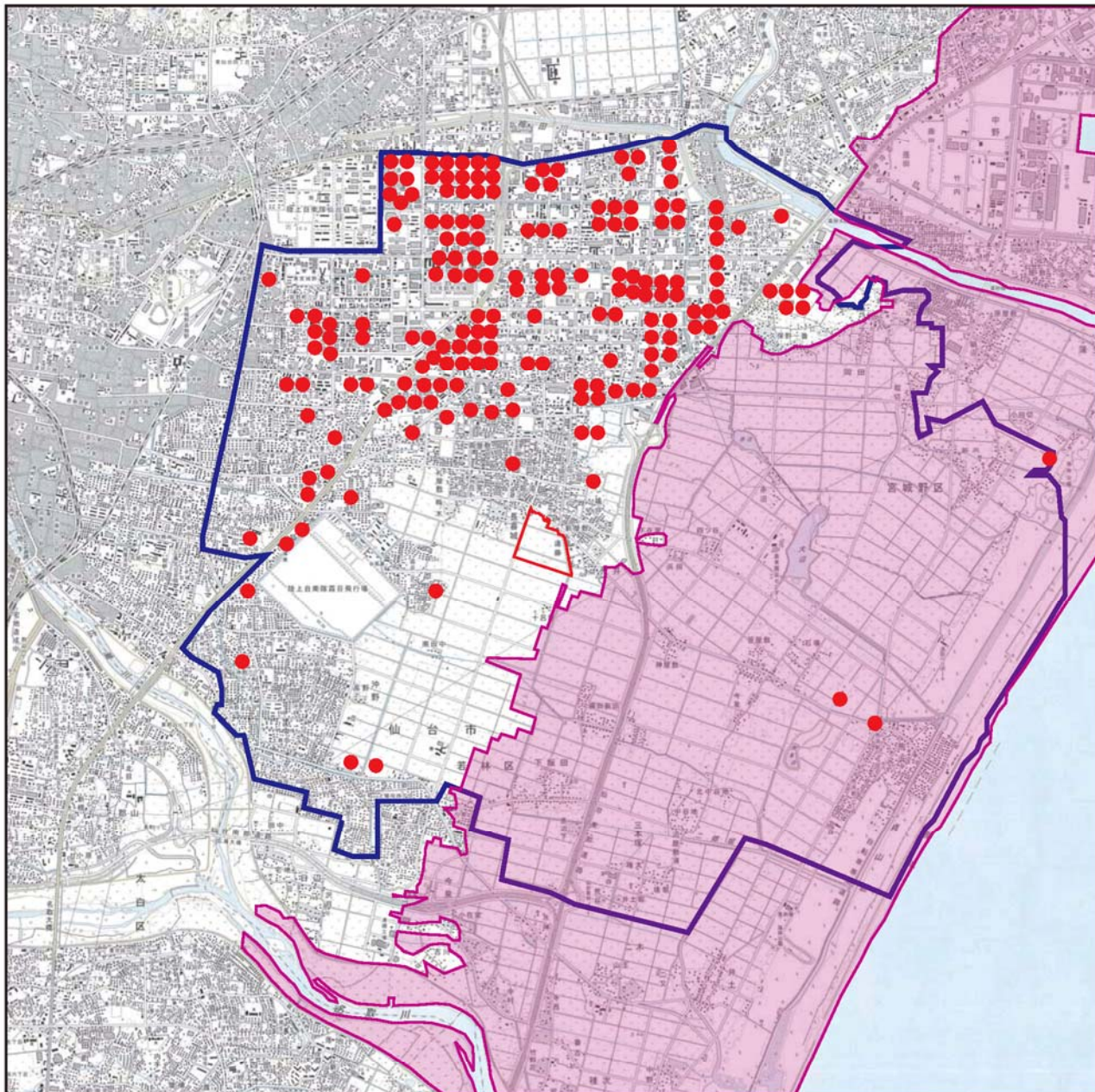
（イ）事業予定地

事業予定地における水質汚濁防止法に基づく特定事業場、下水道法に基づく特定作業場は存在しない。

エ 影響を受ける施設等の状況等

本事業においては、工事中の雑排水やトイレ排水は公共下水道に接続する計画である。また、供用後の汚水は、事業予定地北側に隣接する公共下水道に接続するため、影響を受ける施設等は想定されない。

しかし、工事中の降雨による濁水の影響が想定され、この場合影響を受ける施設等として霞目雨水幹線や沿線の農地及び集落等が考えられる。



※特定施設を町丁目の範囲に規則的にプロットした
 ※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ
 (2011. 4. 9)」を基に作成
 ※東北地方太平洋沖地震による浸水の影響があった特定事業場がみられる

凡 例

- 事業予定地
- 重点調査範囲
- 特定施設
- 浸水区域



縮尺 1/60,000



図 6.1.2-3 下水道法に基づく特定事業場図

オ 水質保全上の留意点

概況調査地域の水象をみると、事業予定地は名取川の流域に属し、名取川に接続している下水道施設の霞目雨水幹線が地区内を流れている。

霞目雨水幹線が合流する名取川下流の環境基準はB類型で、閑上大橋での水質は、生活環境項目、健康項目ともに環境基準を満たしている。

本事業においては、工事中の切土・盛土・掘削等による裸地の発生に伴い、霞目雨水幹線への降雨による濁水の影響が考えられるため、工事中の雨水対策により濁水の流出を最小とするよう留意する。

(2) 底質

ア 底質の状況

概況調査地域においては、国又は地方公共団体による定期的な底質調査は名取川（袋原堰下）、広瀬川（三橋）、七北田川（福田大橋、高砂橋）、梅田川（福田橋）で行われている。

また、公共用水域の底質のダイオキシン類監視測定は、七北田川（福田大橋）、梅田川（福田橋）で行われている。

なお、事業予定地では、国又は地方公共団体による定期的な底質調査は行われていない。

表 6.1.2-9 河川の底質調査結果（平成 22 年度）

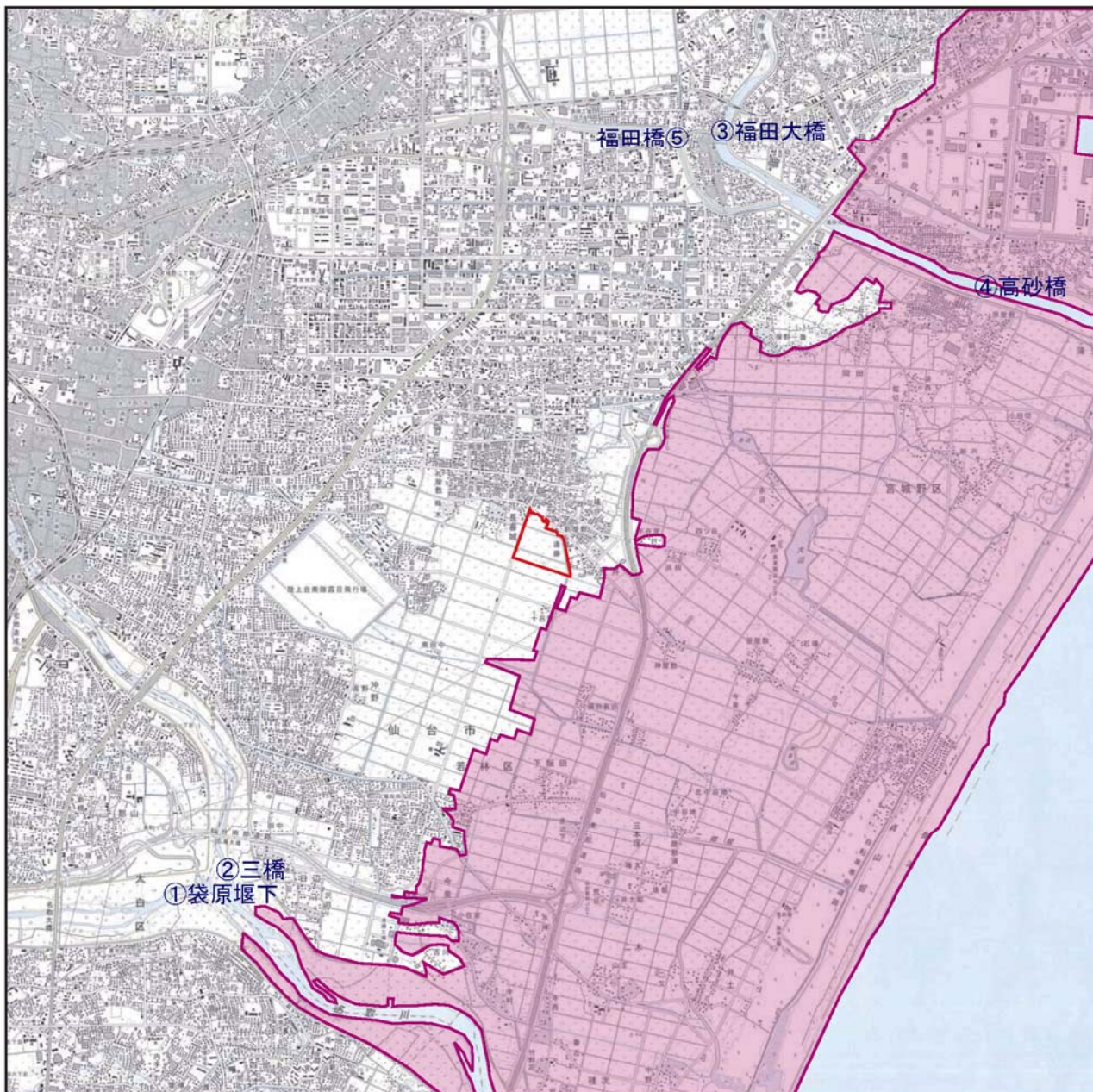
項目		名取川	広瀬川	七北田川	七北田川	梅田川
		袋原堰下	三橋	福田大橋	高砂橋	福田橋
pH	H ₂ O	7.0	7.1	7.3	7.8	7.4
	KCL	6.2	6.2	6.2	6.5	6.2
COD	(mg/kg)	<2000	<2000	<2000	45000	<2000
n-ヘキサン抽出物質	(mg/kg)	<25	<25	25	2700	78
全窒素	(mg/kg)	40	50	50	2300	140
全燐	(mg/kg)	230	190	180	360	360
カドミウム	(mg/kg)	0.08	0.09	0.06	0.56	0.07
鉛	(mg/kg)	10	10	7.2	35	16
砒素	(mg/kg)	8.6	7.3	7.7	18	7.6
総水銀	(mg/kg)	0.02	0.01	0.01	0.11	0.05
全クロム	(mg/kg)	13	22	14	29	9
硫化物	(mg/kg)	<20	<20	<20	1600	<20
含水率	(%)	22	18	24	60	24
強熱減量	(%)	2.0	1.9	1.7	11	2.2

※上表調査地点高砂橋は、東北地方太平洋沖地震による浸水区域に含まれる
出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-10 公共用水域の底質のダイオキシン類監視結果（平成 22 年度）

水域名		調査地点名	底質 (pg-TEQ/g)	環境基準 (pg-TEQ/g)
七北田川	七北田川中流	福田大橋	0.74	150
梅田川	梅田川	福田橋	1.6	

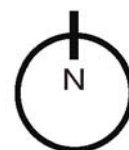
※上表調査地点は、東北地方太平洋沖地震による浸水区域に含まれない
出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局



※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ (2011. 4. 9)」を基に作成

凡 例

- 事業予定地
- 浸水区域



縮尺 1/60,000



図 6.1.2-4 底質調査地点位置図

イ 発生源の状況

公共用水域に排出される工場・事業場の排水等に伴う有害物質が蓄積することにより底質が汚染されるものと考えられるが、底質の汚染の発生源としては特定されていない。

水質汚濁防止法に基づく特定施設は、表 6.1.2-7 (p.6-33 参照) に示したとおり、自動式車両洗浄施設が最も多く、次いで新聞業、出版業、印刷業又は製版業となっている。

事業予定地には、上記の特定施設は存在しない。

ウ 影響を受ける施設等の状況等

霞目雨水幹線の底質の変化により影響を受ける施設等は、下流域の施設や農地が考えられる。

エ 底質保全上の留意点

概況調査地域の底質の状況をみると、底質調査は事業予定地に隣接する名取川(袋原堰下)、広瀬川(三橋)、七北田川(福田大橋、高砂橋)、梅田川(福田橋)で、ダイオキシン類の監視測定は広瀬川(愛宕橋)、七北田川(福田大橋)、梅田川(福田橋)で行われているが、測定値は環境基準を満たしている。

本事業において底質に影響を与えるような工事は想定されないため、底質への影響は極めて少ない。

(3) 地下水汚染

ア 地下水汚染の状況

概況調査地域においては、概況調査（環境基準項目、要監視項目）が宮城野区で2箇所、若林区で3箇所、概況調査（環境基準項目）が宮城野区で6箇所、若林区で5箇所、太白区で3箇所行われている。また、定期モニタリング調査として、過去に環境基準を達成しなかった地点における汚染の経年変化を調べる定期的な調査を宮城野区で5箇所、若林区で4箇所、太白区で1箇所行われている。環境基準と照らし合わせると、一部の測定値（定期モニタリング調査）は環境基準を超過している。

なお、事業予定地が含まれる区域（三次メッシュコード：5740-27-85）内では、概況調査（環境基準項目）が実施されており、その調査結果はすべての環境基準項目で環境基準を満足していた。

表 6.1.2-11(1) 地下水水質調査結果（概況調査）（平成 22 年度）

【概況調査】

調査項目	区・三次メッシュコード 調査日	単位	宮城野区	宮城野区	環境基準
			5740-37-09	5740-37-07	
			H22.12.1	H22.12.1	
水温		(°C)	13.5	13.5	
pH			8.3	8.2	
環境 基準 項目	カドミウム	(mg/L)	<0.001	<0.001	0.003 以下
	全シアン	(mg/L)	<0.1	<0.1	検出されないこと
	鉛	(mg/L)	<0.005	<0.005	0.01 以下
	六価クロム	(mg/L)	<0.02	<0.02	0.05 以下
	砒素	(mg/L)	0.007	0.008	0.01 以下
	総水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
	アルキル水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	P C B	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	ジクロロメタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	0.02 以下
	四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	塩化ビニルモノマー	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	0.1 以下
	1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.004	<0.004	0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	0.03 以下
	テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	チウラム	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	シマジン	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
	チオベンカルブ	(mg/L)	<0.002	<0.002	0.02 以下
	ベンゼン	(mg/L)	<0.001	<0.001	0.01 以下
セレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	0.01 以下	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	<0.015	<0.015	10 以下	
ふっ素	(mg/L)	0.39	0.25	0.8 以下	
ほう素	(mg/L)	0.13	0.11	1 以下	
1, 4-ジオキサン	(mg/L)	<0.005	<0.005	0.05 以下	
ダイオキシン類年平均値		(pg-TEQ/L)	—	—	1 以下

※上表調査メッシュ(57403709、57403707)は、東北地方太平洋沖地震による浸水区域に含まれる
出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-11(2) 地下水水質調査結果（概況調査）（平成 22 年度）

【概況調査】

調査項目	区・三次メッシュコード 調査日	単位	宮城野区	宮城野区	指針値
			5740-37-09	5740-37-07	
			H22.12.1	H22.12.1	
要 監 視 項 目	クロロホルム	(mg/L)	<0.006	<0.006	0.06 以下
	1,2-ジクロロプロパン	(mg/L)	<0.006	<0.006	0.06 以下
	p-ジクロロベンゼン	(mg/L)	<0.02	<0.02	0.2 以下
	イソキサチオン	(mg/L)	<0.0008	<0.0008	0.008 以下
	ダイアジノン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	0.005 以下
	フェニトロチオン (MEP)	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
	イソプロチオラン	(mg/L)	<0.004	<0.004	0.04 以下
	オキシ銅 (有機銅)	(mg/L)	<0.004	<0.004	0.04 以下
	クロロタロニル (TPN)	(mg/L)	<0.005	<0.005	0.05 以下
	プロピザミド	(mg/L)	<0.0008	<0.0008	0.008 以下
	EPN	(mg/L)	<0.001	<0.001	0.006 以下
	ジクロロボス (DDVP)	(mg/L)	<0.0008	<0.0008	0.008 以下
	フェノブカルブ (BPMC)	(mg/L)	<0.003	<0.003	0.03 以下
	イプロベンホス (IBP)	(mg/L)	<0.0008	<0.0008	0.008 以下
	クロルニトロフェン (CNP)	(mg/L)	<0.0001	<0.0001	-
	トルエン	(mg/L)	<0.06	<0.06	0.6 以下
	キシレン	(mg/L)	<0.04	<0.04	0.4 以下
	フタル酸ジエチルヘキシル	(mg/L)	<0.006	<0.006	0.06 以下
	ニッケル	(mg/L)	<0.001	<0.001	-
	モリブデン	(mg/L)	<0.007	<0.007	0.07 以下
	アンチモン	(mg/L)	<0.002	<0.002	0.02 以下
	エピクロヒドリン	(mg/L)	<0.00004	<0.00004	0.0004 以下
	全マンガン	(mg/L)	0.04	0.02	0.2 以下
ウラン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	0.002 以下	

※上表調査メッシュ(57403709、57403707)は、東北地方太平洋沖地震による浸水区域に含まれる
出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-11(3) 地下水水質調査結果（概況調査）（平成 22 年度）

【概況調査】

調査項目	区・三次メッシュコード 調査日	単位	若林区	若林区	若林区	環境基準
			5740-27-55	5740-27-66	5740-27-36	
			H22.12.1	H22.12.1	H22.12.1	
水温		(℃)	13.5	15.7	13.9	
pH			7.5	7.6	7.8	
環境 基準 項目	カドミウム	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.003 以下
	全シアン	(mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
	鉛	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
	六価クロム	(mg/L)	<0.02	<0.02	<0.02	0.05 以下
	砒素	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
	総水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
	アルキル水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	P C B	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	ジクロロメタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
	四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	塩化ビニルモノマー	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.1 以下
	1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.03 以下
	テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	チウラム	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	シマジン	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
	チオベンカルブ	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
	ベンゼン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
	セレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	1.0	1.6	0.54	10 以下
	ふっ素	(mg/L)	<0.08	<0.08	<0.08	0.8 以下
	ほう素	(mg/L)	0.02	0.03	0.04	1 以下
1, 4-ジオキサン	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下	
ダイオキシン類年平均値		(pg-TEQ/L)	0.046	—	—	1 以下

※上表調査メッシュ(57402755、57402766、57402736)は、東北地方太平洋沖地震による浸水区域に含まれる
 出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-11(4) 地下水水質調査結果（概況調査）（平成 22 年度）

【概況調査】

調査項目	区・三次メッシュコード 調査日	単位	若林区	若林区	若林区	指針値
			5740-27-55	5740-27-66	5740-27-36	
			H22.12.1	H22.12.1	H22.12.1	
要 監 視 項 目	クロロホルム	(mg/L)	<0.006	<0.006	<0.006	0.06 以下
	1,2-ジクロロプロパン	(mg/L)	<0.006	<0.006	<0.006	0.06 以下
	p-ジクロロベンゼン	(mg/L)	<0.02	<0.02	<0.02	0.2 以下
	イソキサチオン	(mg/L)	<0.0008	<0.0008	<0.0008	0.008 以下
	ダイアジノン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005 以下
	フェニトロチオン (MEP)	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
	イソプロチオラン	(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
	オキシ銅 (有機銅)	(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
	クロロタロニル (TPN)	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下
	プロピザミド	(mg/L)	<0.0008	<0.0008	<0.0008	0.008 以下
	EPN	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.006 以下
	ジクロルボス (DDVP)	(mg/L)	<0.0008	<0.0008	<0.0008	0.008 以下
	フェノブカルブ (BPMC)	(mg/L)	<0.003	<0.003	<0.003	0.03 以下
	イプロベンホス (IBP)	(mg/L)	<0.0008	<0.0008	<0.0008	0.008 以下
	クロルニトロフェン (CNP)	(mg/L)	<0.0001	<0.0001	<0.0001	-
	トルエン	(mg/L)	<0.06	<0.06	<0.06	0.6 以下
	キシレン	(mg/L)	<0.04	<0.04	<0.04	0.4 以下
	フタル酸ジエチルヘキシル	(mg/L)	<0.006	<0.006	<0.006	0.06 以下
	ニッケル	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	-
	モリブデン	(mg/L)	<0.007	<0.007	<0.007	0.07 以下
	アンチモン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
エピクロロヒドリン	(mg/L)	<0.00004	<0.00004	<0.00004	0.0004 以下	
全マンガン	(mg/L)	<0.02	0.21	0.02	0.2 以下	
ウラン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下	

※上表調査メッシュ(57402755、57402766、57402736)は、東北地方太平洋沖地震による浸水区域に含まれる

出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-11(5) 地下水水質調査結果（概況調査）（平成 22 年度）

【概況調査】

調査項目	区・三次メッシュコード 調査日	単位	宮城野区	宮城野区	宮城野区	環境基準
			5740-37-23 H22.12.2	5740-37-08 H22.12.8	5740-37-27 H22.12.8	
水温		(℃)	14.7	14.4	15.0	
pH			7.8	8.3	7.8	
環境基準項目	カドミウム	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.003 以下
	全シアン	(mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
	鉛	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
	六価クロム	(mg/L)	<0.02	<0.02	<0.02	0.05 以下
	砒素	(mg/L)	<0.005	0.012	<0.005	0.01 以下
	総水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
	アルキル水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	P C B	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	ジクロロメタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
	四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.1 以下
	1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.03 以下
	テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	チウラム	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	シマジン	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
	チオベンカルブ	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
	ベンゼン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
	セレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	6.8	<0.015	<0.015	10 以下	
ふっ素	(mg/L)	<0.08	0.30	0.11	0.8 以下	
ほう素	(mg/L)	0.02	0.14	0.05	1 以下	
1, 4-ジオキサン	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下	
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下	

※上表調査メッシュ(57403708)は、東北地方太平洋沖地震による浸水区域に含まれる
 出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-11(6) 地下水水質調査結果（概況調査）（平成 22 年度）

【概況調査】

調査項目	区・三次メッシュコード 調査日	単位	宮城野区	宮城野区	宮城野区	環境基準
			5740-27-89	5740-37-37	5740-37-38	
			H22.12.8	H23.1.13	H23.1.27	
水温		(℃)	14.4	13.3	10.2	
pH			8.5	7.4	7.4	
環境基準項目	カドミウム	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.003 以下
	全シアン	(mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
	鉛	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
	六価クロム	(mg/L)	<0.02	<0.02	<0.02	0.05 以下
	砒素	(mg/L)	0.009	0.006	<0.005	0.01 以下
	総水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
	アルキル水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	P C B	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	ジクロロメタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
	四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.1 以下
	1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.03 以下
	テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	チウラム	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	シマジン	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
	チオベンカルブ	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
	ベンゼン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
	セレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	<0.015	0.015	0.54	10 以下
	ふっ素	(mg/L)	0.18	0.13	<0.08	0.8 以下
	ほう素	(mg/L)	0.13	0.13	<0.01	1 以下
1,4-ジオキサン	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下	
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下	

※上表調査メッシュ(57403789、57403738)は、東北地方太平洋沖地震による浸水区域に含まれる
 出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-11(7) 地下水水質調査結果（概況調査）（平成 22 年度）

【概況調査】

調査項目	区・三次メッシュコード 調査日	単位	若林区	若林区	若林区	環境基準
			5740-37-06	5740-27-93	5740-27-85	
			H22.12.1	H23.1.27	H23.1.27	
水温		(℃)	14.6	15.8	10.3	
pH			7.5	6.4	6.9	
環境基準項目	カドミウム	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.003 以下
	全シアン	(mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
	鉛	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
	六価クロム	(mg/L)	<0.02	<0.02	<0.02	0.05 以下
	砒素	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
	総水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
	アルキル水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	P C B	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	ジクロロメタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
	四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.1 以下
	1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.03 以下
	テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.0005	0.0031	<0.0005	0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	チウラム	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	シマジン	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
	チオベンカルブ	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
	ベンゼン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
	セレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	<0.015	4.6	0.20	10 以下
	ふっ素	(mg/L)	<0.08	<0.08	<0.08	0.8 以下
ほう素	(mg/L)	0.02	0.05	0.03	1 以下	
1, 4-ジオキサン	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下	
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下	

※上表調査メッシュは、東北地方太平洋沖地震による浸水区域に含まれない
 出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-11(8) 地下水水質調査結果（概況調査）（平成 22 年度）

【概況調査】

調査項目	区・三次メッシュコード 調査日	単位	若林区	若林区	太白区	環境基準
			5740-27-84	5740-27-83	5740-27-52	
			H23.1.27	H23.1.27	H22.12.1	
水温		(℃)	14.4	14.9	15.7	
pH			7.0	6.6	7.6	
環境基準項目	カドミウム	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.003 以下
	全シアン	(mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
	鉛	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
	六価クロム	(mg/L)	<0.02	<0.02	<0.02	0.05 以下
	砒素	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
	総水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
	アルキル水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	P C B	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	ジクロロメタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
	四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.1 以下
	1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.03 以下
	テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.0005	0.0078	<0.0005	0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	チウラム	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	シマジン	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
	チオベンカルブ	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
	ベンゼン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
	セレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	0.68	3.8	0.29	10 以下
	ふっ素	(mg/L)	<0.08	<0.08	<0.08	0.8 以下
	ほう素	(mg/L)	0.02	0.06	0.04	1 以下
1, 4-ジオキサン	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下	
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下	

※上表調査メッシュは、東北地方太平洋沖地震による浸水区域に含まれない
出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-11(9) 地下水水質調査結果（概況調査）（平成 22 年度）

【概況調査】

調査項目	区・三次メッシュコード 調査日	単位	太白区	太白区	環境基準
			5740-27-41	5740-27-31	
			H23.1.27	H23.1.27	
水温		(°C)	14.8	9.1	
pH			6.5	6.9	
環境基準項目	カドミウム	(mg/L)	<0.001	<0.001	0.003 以下
	全シアン	(mg/L)	<0.1	<0.1	検出されないこと
	鉛	(mg/L)	<0.005	<0.005	0.01 以下
	六価クロム	(mg/L)	<0.02	<0.02	0.05 以下
	砒素	(mg/L)	<0.005	<0.005	0.01 以下
	総水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
	アルキル水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	P C B	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	ジクロロメタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	0.02 以下
	四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	0.1 以下
	1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.004	<0.004	0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	0.03 以下
	テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	チウラム	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	シマジン	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
	チオベンカルブ	(mg/L)	<0.002	<0.002	0.02 以下
	ベンゼン	(mg/L)	<0.001	<0.001	0.01 以下
	セレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	0.01 以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	4.3	2.7	10 以下
	ふっ素	(mg/L)	<0.08	<0.08	0.8 以下
	ほう素	(mg/L)	0.07	0.08	1 以下
1, 4-ジオキサン	(mg/L)	<0.005	<0.005	0.05 以下	
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	0.002 以下	

※上表調査メッシュは、東北地方太平洋沖地震による浸水区域に含まれない
 出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-11(10) 地下水水質調査結果（継続監視調査）（平成 22 年度）

【継続監視調査】

調査項目	区・三次メッシュコード 調査日	単位	宮城野区	若林区 A	若林区 B	太白区	環境基準
			5740-37-24	5740-27-62	5740-27-62	5740-27-51	
			H22.8.3	H22.8.3	H22.8.3	H22.8.3	
水温		(°C)	16.2	15.1	15.3	18.5	
pH			6.7	6.5	6.7	6.5	
1,1-ジクロロエチレン		(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1 以下
1,1,1-トリクロロエタン		(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 以下
トリクロロエチレン		(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	0.03 以下
テトラクロロエチレン		(mg/L)	0.025	0.006	0.024	<0.0005	0.01 以下
1,4-ジオキサン		(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下
塩化ビニルモノマー		(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
1,2-ジクロロエチレン		(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下

※上表調査メッシュは、東北地方太平洋沖地震による浸水区域に含まれない
出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-11(11) 地下水水質調査結果（継続監視調査）（平成 22 年度）

【継続監視調査】

調査項目	区・三次メッシュコード 調査日	単位	宮城野区	環境基準
			5740-37-32	
			H22.8.19	
水温		(°C)	15.0	
pH			7.0	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		(mg/L)	0.96	10 以下
亜硝酸性窒素		(mg/L)	<0.005	
アンモニア性窒素		(mg/L)	<0.05	

※上表調査メッシュは、東北地方太平洋沖地震による浸水区域に含まれない
出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-11(12) 地下水水質調査結果（継続監視調査）（平成 22 年度）

【継続監視調査】

調査項目	区・三次メッシュコード 調査日	単位	宮城野区	宮城野区	環境基準
			5740-37-12	5740-37-13	
			H22.7.23	H22.7.23	
水温		(°C)	14.7	16.6	
pH			6.2	6.3	
六価クロム		(mg/L)	0.02	0.07	0.05 以下
総クロム		(mg/L)	0.028	0.072	

※上表調査メッシュは、東北地方太平洋沖地震による浸水区域に含まれない
出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

表 6.1.2-11(13) 地下水水質調査結果（継続監視調査）（平成 22 年度）

【継続監視調査】

調査項目	区・三次メッシュコード 調査日	単位	宮城野区	若林区	若林区	環境基準
			5740-27-98	5740-27-76	5740-27-86	
			H22.8.19	H22.8.19	H22.8.19	
水温		(℃)	14.4	13.7	14.7	
pH			8.0	7.7	8.1	
砒素		(mg/L)	0.016	0.023	0.034	0.01 以下

※上表調査メッシュ(57402798、57402776、57402786)は、東北地方太平洋沖地震による浸水区域に含まれる

出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

イ 発生源の状況

地下水汚染の発生源としては、土壌汚染、水質の汚濁や大気の汚染を通じて発生するとされ、公共用水域に排出される工場、事業場、廃棄物処理場等の排水などが挙げられるが特定されていない。

なお、土壌汚染対策法による有害物質使用特定施設保有事業場は、図 6.1.3-7（p.6-70 参照）に示すとおりである。なお、事業予定地に発生源となる有害物質使用特定施設保有事業場は確認されていない。

その他、人為汚染がなくても、土壌や堆積物中の砒素や鉛の含有量が著しく高くなる自然由来の発生源の存在もあるとされている。

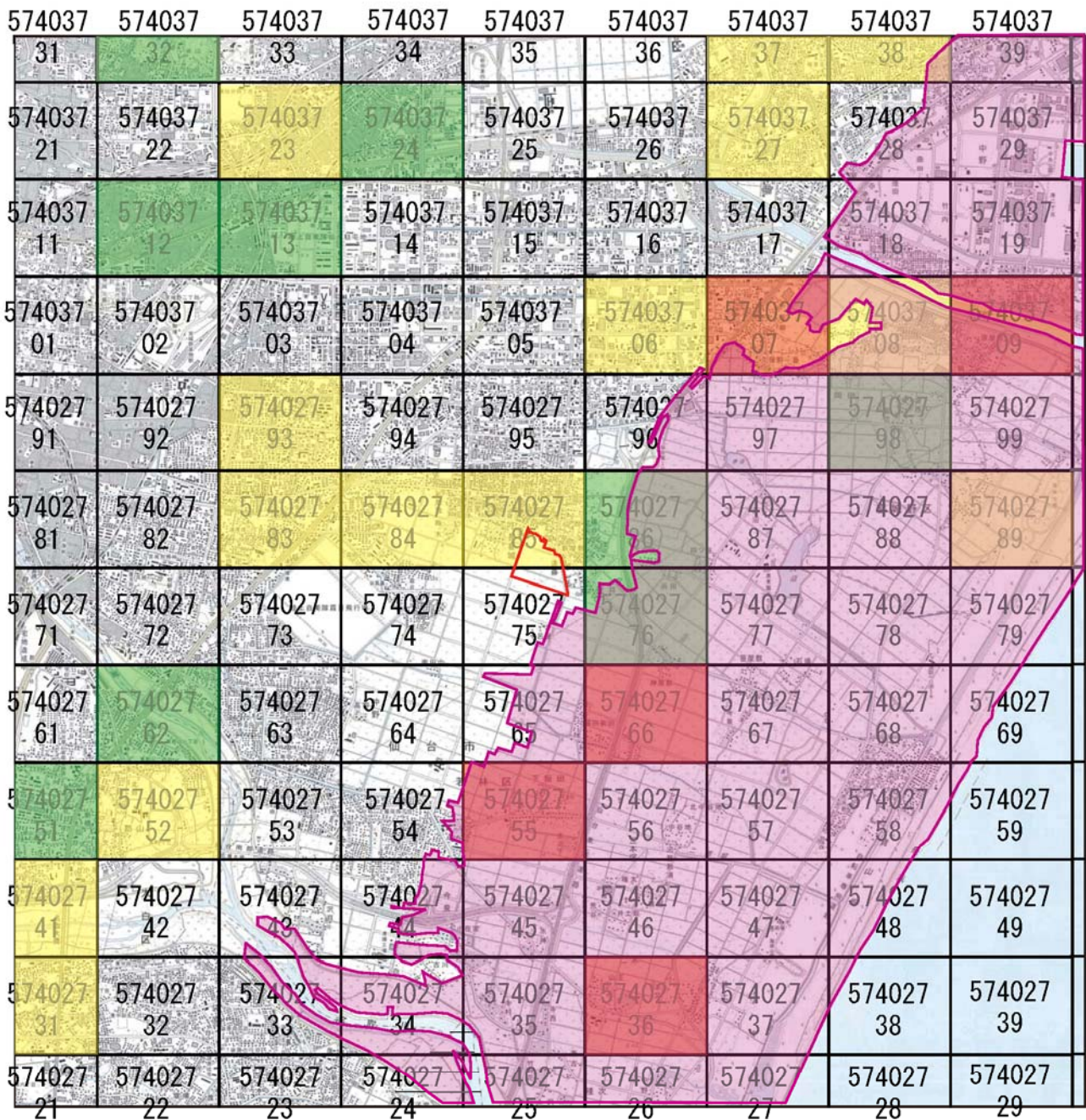
ウ 影響を受ける施設等の状況等

地下水汚染により影響を受ける施設等は、図 6.2.3-2（p.6-135 参照）に示すとおり、事業予定地周辺の井戸等の施設や農地が考えられる。

エ 地下水汚染防止上の留意点

事業予定地では、若林区 5740-27-85 のメッシュ区で地下水水質調査（概況調査）が行われており、全ての項目で測定値は環境基準を満たしている。

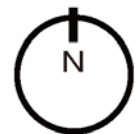
地下水汚染に及ぼすおそれのある有害物質の工事、供用時における使用、保管、処分等は想定されないため、地下水汚染への影響は極めて少ない。



※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ (2011. 4. 9)」を基に作成

凡 例

- 事業予定地
- 概況調査地 (環境基準項目・要監視項目・ダイオキシン類)
- 概況調査地 (環境基準項目)
- 継続監視調査
- 浸水区域



縮尺 1/60,000



※着色したメッシュは、調査地点が存在する区域を示す。

図 6.1.2-5 地下水水質調査位置図

(4) 水象

ア 河川・湖沼・地下水・湧水等の分布状況

(ア) 河川の状況

概況調査地域には、図 6.1.2-6 (p.6-55 参照) に示すとおり、七北田川及び支流の梅田川・高野川、名取川及び支流の広瀬川、旧策川、井土浦川、南貞山運河、北貞山運河がある。

事業予定地には河川は存在しないが、図 1.6-9 (p.1-37 参照) に示したとおり、下水道施設である霞目雨水幹線や仙台堀をはじめとする 8 つの農業用排水路が流れている。仙台堀は、事業予定地東側の仙台東部道路を横断し、さらに東側の農地に利水されているが、その他の農業用排水路は霞目雨水幹線に排水されている。

霞目雨水幹線は、名取川放流地点より事業予定地に隣接した七郷中学校近傍まで開渠、七郷中学校近傍より上流側は暗渠となっている。霞目雨水幹線の開渠部分及び農業用排水路はコンクリートの三面張り水路となっている。

(イ) 水源地

概況調査地域には、多賀城市の岡田 1 号井、岡田 2 号井、岡田 3 号井、岡田 4 号井があり、岡田集水場に集水され、末の松山浄水場を経て多賀城市内に給水されている。岡田集水場の導水能力は 3,250 m³/日となっている。

事業予定地には、水源地はない。

(ウ) 湧水

概況調査地域には、湧水はない。

(エ) 温泉

概況調査地域には、温泉（源泉）が 3 箇所（仙台七郷温泉、伊達の湯、コロナ 6 号）ある。事業予定地北側の仙台七郷温泉は、現在利用されていない（宮城県薬務課に聞き取り）。

事業予定地には、温泉（源泉）はない。

(オ) 自然性の高い水辺地（親水性のある水辺地）

概況調査地域には、自然性の高い水辺地として、表 6.1.2-12 に示すとおり、赤沼、大沼、南長沼、広瀬川緑地、井土浦がある。

また、これらに加え、親水性のある水辺地として、六郷堀・七郷堀が挙げられ、非灌がい期通水事業による各種イベントが開催され、市民に憩いやレクリエーションの場を提供している。

事業予定地には、自然性の高い水辺地は存在しない。

表 6.1.2-12 親水性のある水辺地

地 区	地区の概要
①与兵衛沼	灌がい用水の沼で周囲に水辺にはヨシが茂り、それを取り囲むようにコナラなどによる雑木林が広がり、住民が散策を楽しんでいる。
②赤沼	農地の中にある沼で釣りなどに親しまれている。
③大沼	農地の中にある沼で釣りなどに親しまれている。
④南長沼	農地の中にある沼で釣りなどに親しまれている。
⑤広瀬川緑地	河岸の親水空間とともにヨシクラス群落、ヤナギ高木林がある。
⑥井土浦	名取川河口左岸に発達した潟。ヨシ群落等が発達している。
⑦六郷堀・七郷堀	非灌がい期（10月中旬～4月中旬）の悪臭の防止、水質汚濁及び修景の改善（浄化及び修景用水）を目的として七郷堀、六郷堀、仙台堀等に通水している。取水量は0.3 m ³ /sとなっている。 通水事業にあわせ、「七郷堀水と音、光の夕べ」 ^{※1} 、「若林区ふるさと広場紅葉ライトアップ」、「若林区民ふるさとまつり」 ^{※2} などのイベント ^{※3} も開催されている。 ※1：ワークショップ、ステージ、灯籠の回廊、夜店 ※2：ふれあいコーナー、フリーマーケット、ステージイベント、若林伝統工芸館、わたしの作品展、ふるさと広場コーナー、縁日・物産コーナー、ミニSLコーナー ※3：七郷堀幹線水路親水公園で開催

※上表の赤沼、大沼、南長沼及び井土浦は、東北地方太平洋沖地震による浸水の影響がみられる

出典：①～⑥：平成15年度自然環境に関する基礎調査業務報告書（仙台市 平成16年2月）

⑦：六郷堀・七郷堀非灌がい期通水事業の概要（仙台市河川課 平成20年12月）

（カ） 漁業権

概況調査地域における公共用水域には、表 6.1.2-13 及び図 6.1.2-6（p.6-55 参照）に示すとおり、漁業権が設定されている。

表 6.1.2-13 漁業権の設定状況

組合名	住所	漁業権が設定されている 河川・湖沼	漁業の名称
広瀬名取川 漁業協同組合	仙台市太白区郡 山字南上河原 7-2	名取川、広瀬川	あゆ漁業、こい漁業、ふな漁業、 うぐい漁業、うなぎ漁業、おいかわ 漁業、にじます漁業、いわな漁業、 やまめ（さくらますを含む）漁業

出典：宮城県農林水産部水産振興課資料

（キ） 湖沼・ため池

概況調査地域の湖沼・ため池は、与兵衛沼溜池、赤沼、大沼、南長沼、井土浦がある。事業予定地には、湖沼・ため池はない。

イ 流域、流量又は水位の状況

概況調査地域は、名取川流域、広瀬川流域、七北田川流域、増田川流域に位置する（図 6.1.2-6、p.6-55 参照）。また、各河川の流量等の状況は、表 6.1.2-14 のとおりである。

事業予定地は、名取川流域に位置する。名取川は、宮城県中南部の太平洋側に位置し、その源を宮城・山形県境の神室岳（標高 1,356 m）に発し、奥羽山脈から発する基石川、広瀬川等の大小支川を合わせて仙台平野を東流し、名取市閑上で太平洋に注ぐ幹川流路延長 55.0km、流域面積 939km² の一級河川である。

表 6.1.2-14 流量等の状況（平成 22 年度）

水域名	河川名	測定地点名	流量 (m ³ /s)			平均流速 (m/s)		
			平均	最小値	最大値	平均	最小値	最大値
名取川下流	名取川	名取橋	—	—	—	—	—	—
策川	旧策川	旧策川最下流	0.17	0.070	0.28	0.11	0.050	0.16
広瀬川 (2)	広瀬川	三橋	—	—	—	—	—	—
七北田川中流	七北田川	福田大橋	—	—	—	—	—	—
七北田川下流	七北田川	高砂橋	—	—	—	—	—	—
梅田川	梅田川	大田見橋	0.14	0.059	0.26	0.27	0.14	0.42
梅田川	梅田川	福田橋	—	—	—	—	—	—
高野川	高野川	高野川最下流	0.12	0.018	0.35	0.24	0.074	0.47
貞山運河	貞山運河	深沼橋	—	—	—	—	—	—

出典：公害関係資料集 平成 23 年度（平成 22 年度測定結果）仙台市環境局

【参考】 霞目雨水幹線の水質調査結果

調査季		浮遊物質 (mg/L)	流量 (m ³ /s)
平水時	春季	9	0.24
	夏季	25	0.17
	秋季	25	0.65
	冬季	13	0.12
増水時	第 1 回	52	2.28
	第 2 回	83	0.76
	第 3 回	68	0.28

出典：(仮称) 仙台市荒井東土地区画整理事業 環境影響評価書

平成 21 年 8 月 仙台市荒井東土地区画整理組合設立準備委員会

備考：平水時の調査は、以下のとおりである。

- ・春季（平成 17 年 5 月 27 日）
- ・夏季（平成 17 年 8 月 31 日）
- ・秋季（平成 17 年 11 月 8 日）
- ・冬季（平成 18 年 2 月 18 日）

増水時については、第 1、2 回は降雨後の濁水の状況を、第 3 回は融雪時の濁水の状況を把握した。増水時の仙台管区気象台における降雨量は以下のとおりである。

- ・第 1 回：平成 17 年 7 月 26 日 64.5 mm/日 最大 1 時間値 17.5 mm
- ・第 2 回：平成 17 年 8 月 26 日 21.5 mm/日 最大 1 時間値 13.0 mm
- ・第 3 回：平成 18 年 2 月 2 日（前日の大雪時） 15.0 mm/日 最大 1 時間値 3.0 mm

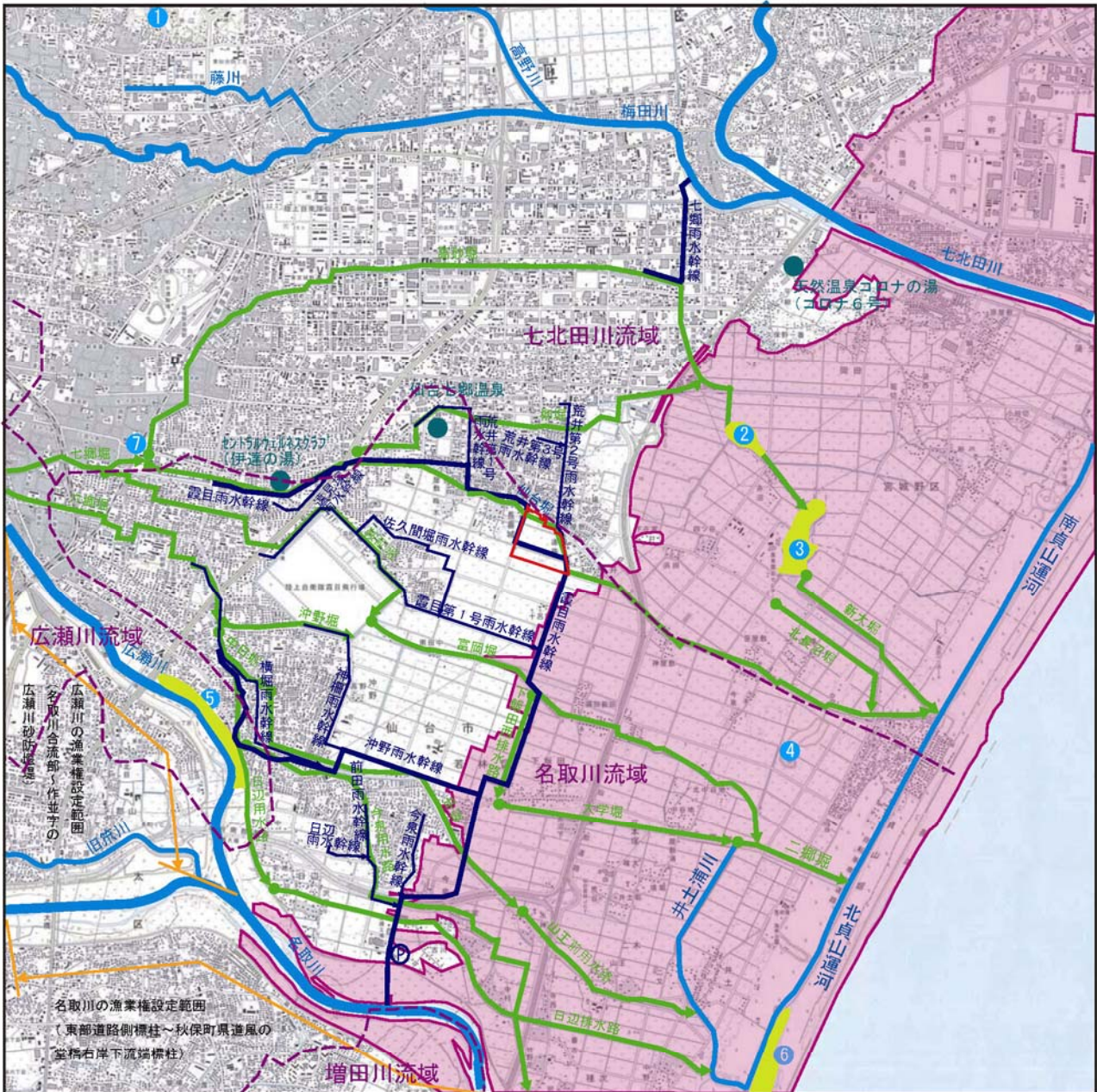
ウ 影響を受ける施設等の状況等

事業予定地の土地の形状の変更による雨水流出量の増加や水田の洪水調整機能等の消失に伴い影響を受ける施設等は、霞目雨水幹線及び沿線の農地や集落等が考えられる。

エ 水象保全上の留意点

事業予定地には河川はないが、下水道施設である霞目雨水幹線や仙台堀をはじめとする 8 つの農業用排水路が流れている。

本事業においては、事業予定地の雨水は、下水道施設である霞目雨水幹線に排水するが、土地の形状の変更による雨水流出量の増加による影響が想定されるため、事業予定地に防災調整池を設置し、流下能力に見合った水量以下を排水するなど、下流域への影響に留意する。



※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ (2011.4.9)」を基に作成

凡例



事業予定地

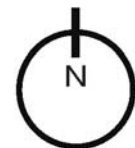


自然性の高い水辺

- ① 与兵衛沼溜池 (仙台市宮城野区蟹沢15)
- ② 赤沼 (仙台市宮城野区岡田)
- ③ 大沼 (仙台市若林区荒井)
- ④ 南長沼 (仙台市若林区荒浜)
- ⑤ 広瀬川緑地 (仙台市若林区若林四丁目他)
- ⑥ 井土浦 (仙台市若林区藤塚)
- ⑦ 七郷堀幹線水路親水公園



流域境界



縮尺 1/60,000



下水道施設



農業用排水路



河川



温泉



浸水区域

図 6.1.2-6 水象の状況図

6.1.3. 土壤環境

(1) 地形・地質

ア 地形・地質の状況

(ア) 地形

概況調査地域の地形は、図 6.1.3-1 に示すとおり、仙台湾西縁にみられる海岸線に沿う沖積平野海岸に浜堤がみられ、平野の低地には、後背湿地が分布している。

また、これを囲むように自然堤防が分布し、その西側に扇状地及び崖錐や段丘平坦面が分布する形になっており、平地部地形に分類され、西から東に傾斜している。

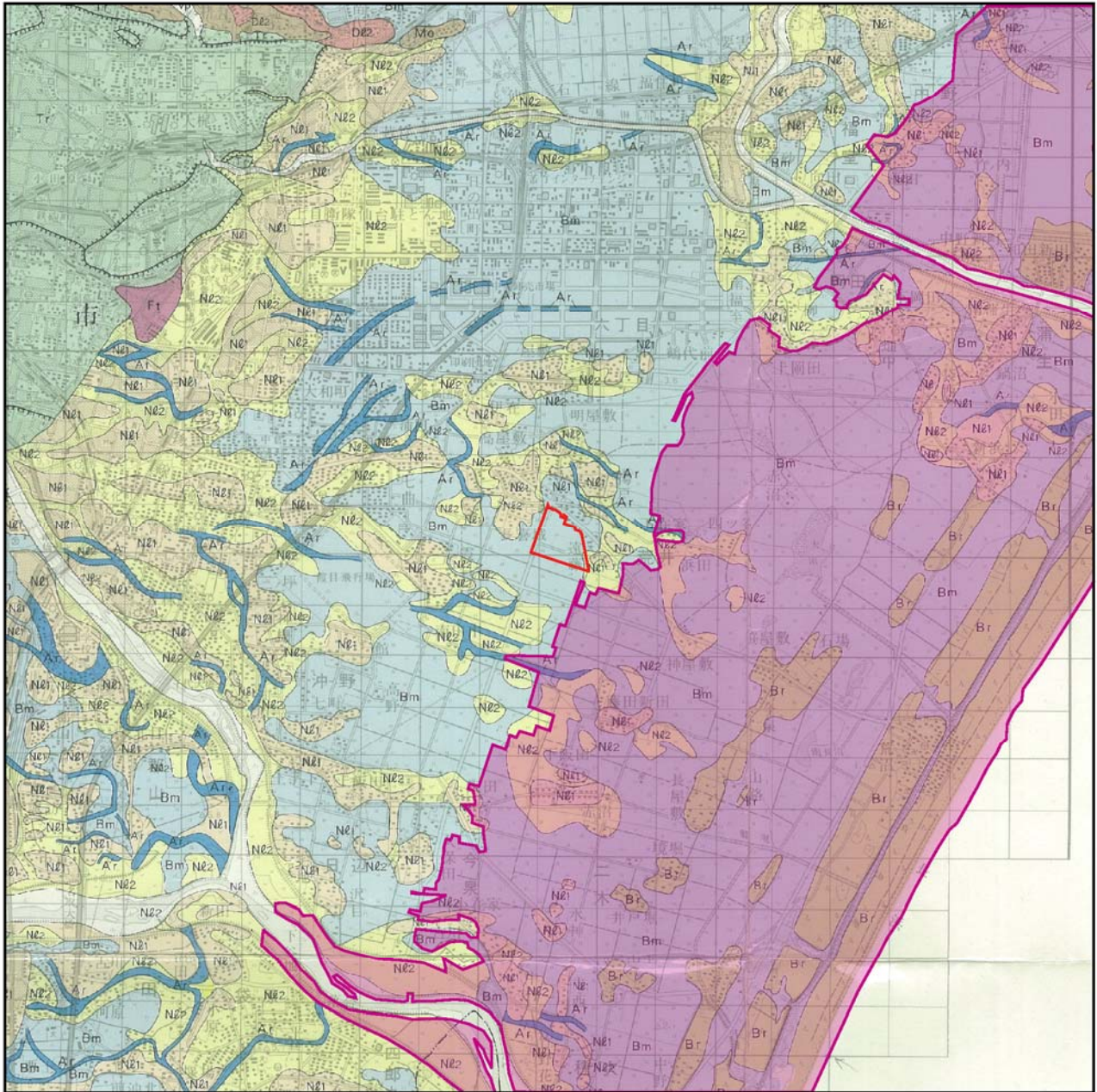
事業予定地は、後背湿地に位置し、標高は約 2m でほぼ平坦な地形となっている。

(イ) 地質

概況調査地域の表層地質の大部分は、図 6.1.3-2 に示すとおり、氾濫堆積物の砂・礫・泥で覆われているが、河川の現河床には礫・砂が、両岸には自然堤防の砂・礫が分布している。

また、汀線に沿っては現砂丘とこれに平行して並ぶ浜堤帯が分布し、ともに中粒砂と最近の海底砂である細粒砂とからなっている。

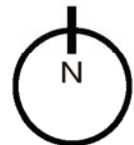
事業予定地は、砂及び粘土の分布地となっている。



出典:宮城県地震地盤図 昭和57年3月 宮城県総務部危機対策課
 ※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ (2011.4.9)」を基に作成

凡 例

- 事業予定地
- 浸水区域



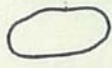


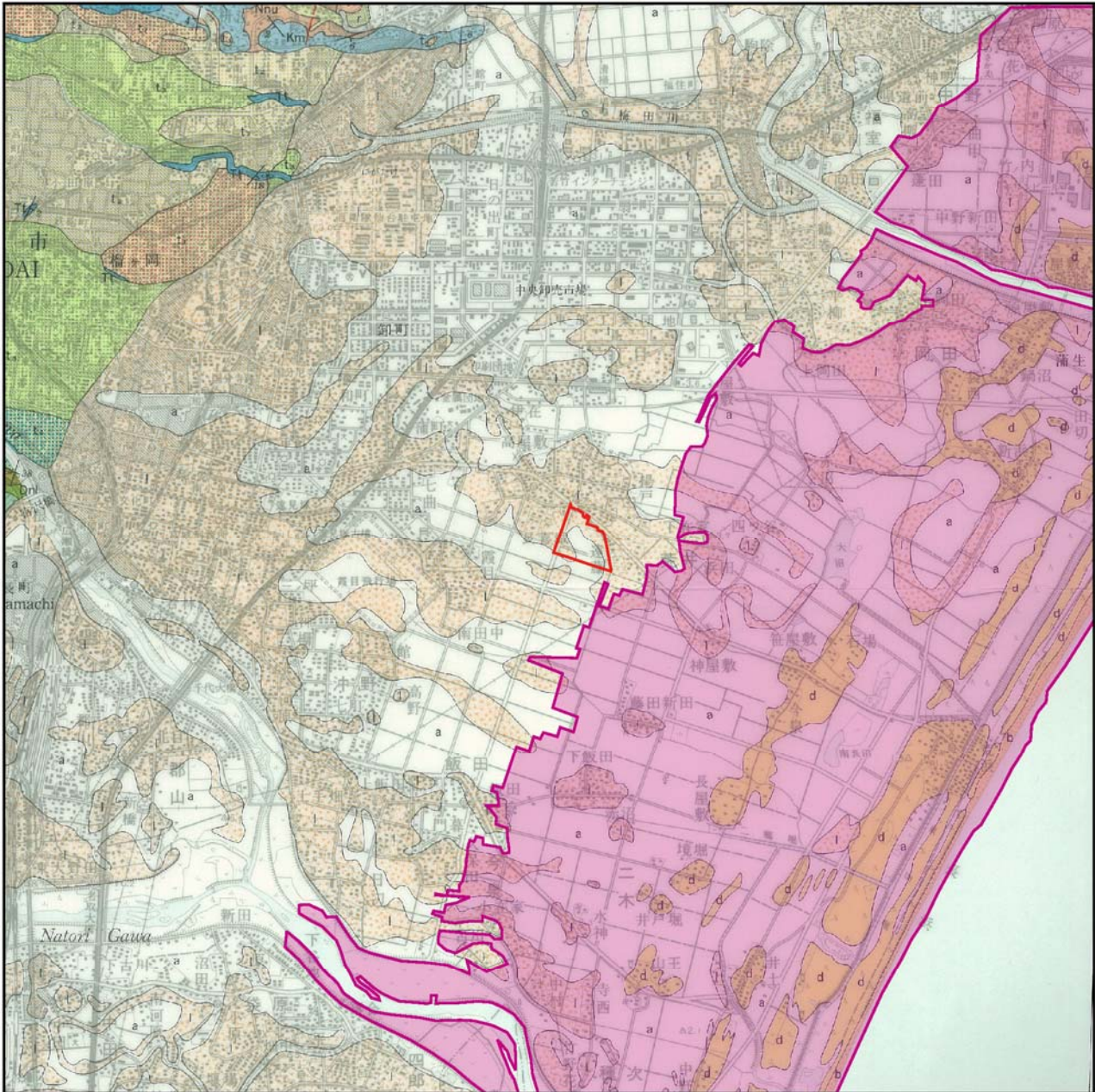
縮尺 1/60,000



図 6.1.3-1 地形分類図

地形分類図凡例

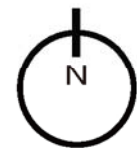
地形区分		記号	
人工地形	埋立地（海浜部・湖沼部）	Rl	
	平地部造成地（切土・盛土） ^②	Dl1	
	山地部造成地（切土・盛土） ^②	Dl2	
平地部地形	浜堤	Br	
	自然堤防	発達部	Nl1
		未発達部	Nl2
	後背湿地	Bm	
	旧河道	Ar 	
	扇状地及び崖錐	Ft	
	谷底平地	Vp	
	段丘平坦面	Tr	
段丘崖			
山地部地形	地すべり性地形分布域		
	火山地形	Vt	
	山地	Mo	



出典：「仙台地域の地質」地質調査所
 ※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ
 (2011.4.9)」を基に作成

凡 例

- 事業予定地
- 浸水区域



縮尺 1/60,000



図 6.1.3-2 表層地質図

表層地質図凡例

第四紀 Quaternary	完新世 Holocene	埋谷土 Earthwork materials		土砂 Sand and earth (prepared for constructions)		
		地すべり堆積物 Landslide deposits		土塊・岩塊・粘土 Lump of earth or rock, clay		
		沖積層 Alluvium	後背湿地堆積物・谷床平野堆積物 Back marsh deposits and valley plain deposits		砂及び粘土(部分的に多賀城火山灰を挟む) Sand and clay (partially intercalating the Tagajō Volcanic Ash)	* 沖積層 Alluvium
			自然堤防堆積物 Natural levee deposits		砂 Sand	
			砂浜堆積物 Sand beach deposits		砂 Sand	
	更新世 Pleistocene	河岸段丘堆積物 River terrace deposits	浜堤堆積物 Sand dune deposits		砂 Sand	
			仙台下町段丘堆積物及び相当層 Sendai-shimomachi Terrace Deposits and the correlatives		礫層・砂層及び粘土層 Gravels, sands and clays	* 河岸段丘堆積物 River terrace deposits
			仙台中町段丘堆積物及び相当層 Sendai-nakamachi Terrace Deposits and the correlatives		礫層・砂層及び粘土層(一部水野火山灰に覆われる) Gravels, sands and clays (partially covered with the Nagano Volcanic Ash)	
			仙台上町段丘堆積物及び相当層 Sendai-kamimachi Terrace Deposits and the correlatives		礫層・砂層及び粘土層 Gravels, sands and clays	
		台の原段丘堆積物及び相当層 Dainohara Terrace Deposits and the correlatives		礫層・砂層及び粘土層(一部愛島火山灰に覆われる) Gravels, sands and clays (partially covered with the Medeshima Volcanic Ash)		
	青葉山層 Aobayama Formation	越路火山灰 Koeji Volcanic Ash		粘土質火山灰及び軽石質細粒火山灰 Clayey volcanic ash and pumiceous fine-grained volcanic ash		
		二ツ沢礫層 Futatsuzawa Gravels		礫層・砂層及び粘土層(泥炭を挟む) Gravels, sands and clays (intercalating peat)		
	鮮新世 Pliocene	仙台層群 Sendai Group	留ヶ谷層 Tomegaya Formation		砂岩及び礫岩 Sandstone and conglomerate	
			大年寺層 Dainenji Formation	シルト岩砂岩互層を主とする岩相 Alternating facies of siltstone and sandstone		シルト岩・砂岩及び亜炭 Siltstone, sandstone and lignite
		砂岩を主とする岩相 Sandstone facies			砂岩・礫岩及びシルト岩 Sandstone, conglomerate and siltstone	
向山層 Mukaiyama Formation		広瀬川凝灰岩部層 Hirosegawa Tuff Member		軽石凝灰岩及び細粒凝灰岩 Pumice tuff and fine-grained tuff	* 向山層 Mukaiyama Formation	
		主部 Main part		砂岩・シルト岩・亜炭・凝灰岩及び礫岩 Sandstone, siltstone, lignite, tuff and conglomerate		
		竜の口層 Tatsunokuchi Formation		シルト岩・砂質シルト岩・凝灰岩及び砂岩 Siltstone, sandy siltstone, tuff and sandstone		
亀岡層 Kameoka Formation			砂岩・凝灰岩・シルト岩・亜炭及び礫岩又は礫混じり砂岩 Sandstone, tuff, siltstone, lignite and conglomerate or pebbly sandstone			

新第三紀
Neogene

中新世
Miocene

	貫入岩 Intrusive rocks	An	安山岩 Andesite		
秋保層群 Akiu Group	三滝層 Mitaki Formation	Mt	安山岩質—玄武岩質溶岩・火山角礫岩及び凝灰角礫岩 Andesitic to basaltic lava, volcanic breccia and tuff breccia		
	白沢層 Shirasawa Formation	Sr	軽石凝灰岩・細粒凝灰岩及び凝灰質シルト岩 Pumice tuff, fine-grained tuff and tuffaceous siltstone		
	梨野層 Nashino Formation	Ns	異地性ブロックを含む軽石凝灰岩・砂質凝灰岩及び砂岩 Pumice tuff, sandy tuff and sandstone (containing allochthonous blocks)		
	湯元層 Yumoto Formation	主部 Main part	Ym	軽石凝灰岩(堅固) Pumice tuff (solid)	
		最下部 Lowermost part	Ymt	軽石凝灰岩(やや軟質) Pumice tuff (somewhat soft)	
	志田層群 Shida Group	七北田層 Nanakita Formation	Nnu	砂岩(凝灰岩薄層を挟む) Sandstone (intercalating thin tuff layers)	
		青麻層 Aoso Formation	Ao	砂岩・シルト岩及び凝灰岩 Sandstone, siltstone and tuff	
		番ヶ森山層 Bangamoriyama Formation	Bn	軽石質砂岩及び礫岩 Pumiceous sandstone and conglomerate	
		入菅谷層 Irisugaya Formation	lr	凝灰質砂岩及び凝灰質シルト岩(凝灰岩薄層を挟む) Tuffaceous sandstone and tuffaceous siltstone (intercalating thin tuff layers)	
		綱木層 Tsunaki Formation	Tn	軽石凝灰岩・火山礫凝灰岩・砂岩・礫岩及び凝灰角礫岩 Pumice tuff, lapilli tuff, sandstone, conglomerate and tuff breccia	
	旗立層 Hatatate Formation	Ht	砂岩及びシルト岩(凝灰岩薄層を挟む) Sandstone and siltstone (intercalating thin tuff layers)		
	茂庭層 Moniwa Formation	Mn	礫岩・礫混じり砂岩及び砂岩 Conglomerate, pebbly sandstone and sandstone		
名取層群 Natori Group	高館層 Takadate Formation	Tk	火山角礫岩・凝灰角礫岩及び軽石凝灰岩 Volcanic breccia, tuff breccia and pumice tuff	* 高館層 Takadate Formation	
		Tkb	安山岩溶岩及び玄武岩溶岩 Andesite lava and basalt lava		
		Tkr	流紋岩溶岩 Rhyolite lava		
松島灣層群 Matsushimawan Group	榎木層 Tsuikinoki Formation	Ts	砂岩・礫岩・火山礫凝灰岩及びシルト岩 Sandstone, conglomerate, lapilli tuff and siltstone		
	東宮浜層 Toguhama Formation	Tst	軽石凝灰岩及び細粒凝灰岩 Pumice tuff and fine-grained tuff		
	佐浦町層 Sauramachi Formation	Tg	デイサイト質角礫岩及び凝灰質砂岩 Dacitic breccia and tuffaceous sandstone		
	塩釜層 Shiogama Formation	Su	火山円礫岩・凝灰岩及び凝灰質砂岩 Volcanic conglomerate, tuff and tuffaceous sandstone		
	利府層 Rifu Formation	Sht	軽石凝灰岩 Pumice tuff		
		Sh	火山角礫岩及び凝灰角礫岩 Volcanic breccia and tuff breccia		
中期三疊紀 Middle Triassic		Rf	頁岩・砂質頁岩及び砂岩 Shale, sandy shale and sandstone		

イ 注目すべき地形・地質の状況

概況調査地域における注目すべき地形・地質の状況は、表 6.1.3-1 及び図 6.1.3-3 に示すとおりである。

事業予定地には、注目すべき地形・地質は存在しない。

表 6.1.3-1 注目すべき地形・地質

No	件名	選定理由	保全の状況
1	大沼、赤沼、南長沼	仙台平野の原景観を残す湖	—
2	井土浦・名取川河口・七北田川河口など	潟湖・河口干潟・砂浜海岸の典型例、かつ動植物の重要な生育地	仙台湾海浜県自然環境保全地域

※上表の注目すべき地形・地質は、東北地方太平洋沖地震による浸水の影響がみられる

出典：平成 15 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書 平成 16 年 2 月 仙台市

ウ 災害履歴

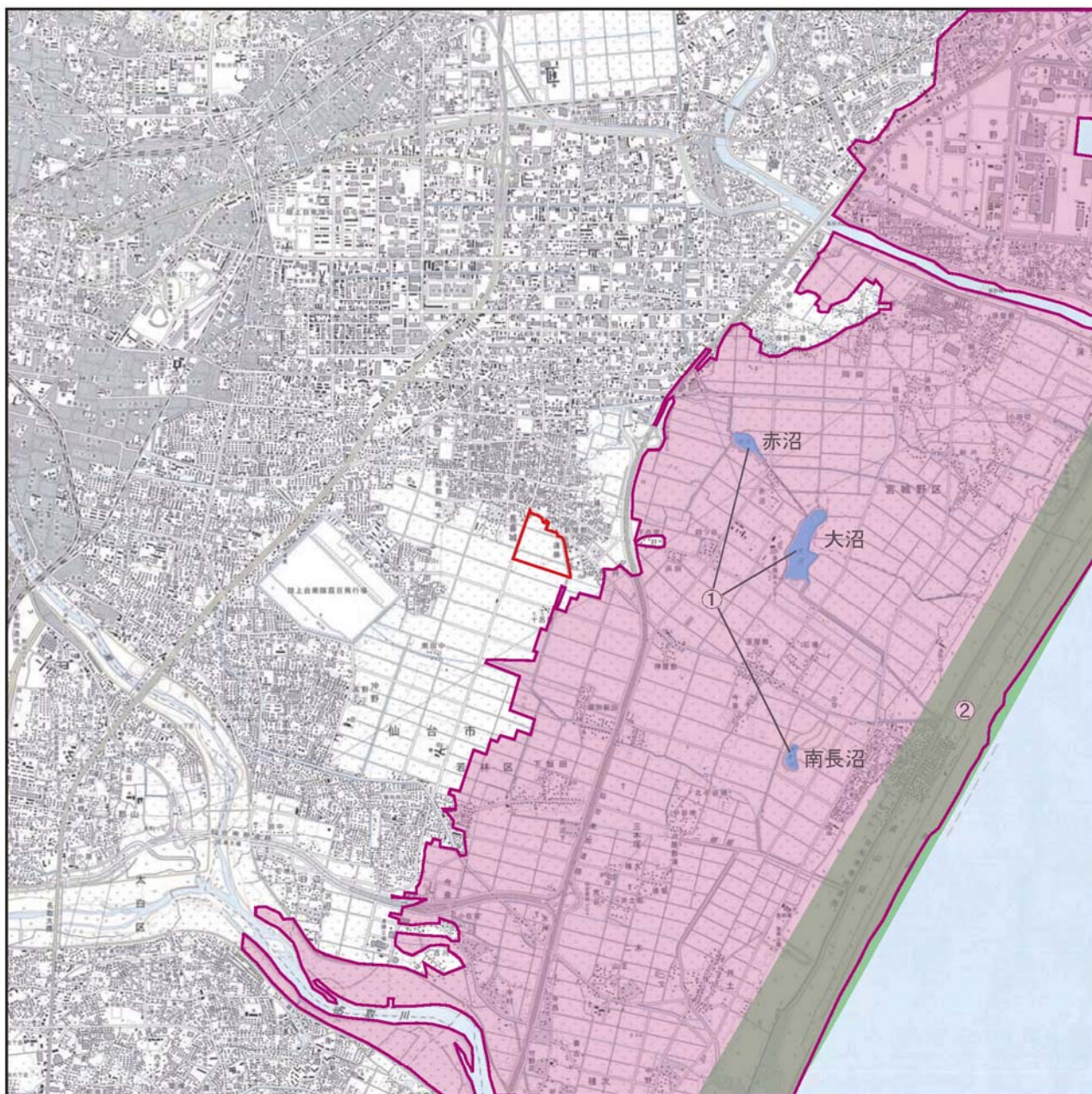
概況調査地域における近年の災害としては、平成 6 年 9 月の大雨による浸水被害があり、仙台東部道路東側の一部、仙台東部道路の西側で霞目飛行場の東側一帯の広い地域が浸水した。

事業予定地における近年の災害としては、昭和 53 年の宮城県沖地震による地盤の液状化、昭和 61 年の台風 10 号、平成 6 年の大雨による浸水被害を受けている。また、平成 23 年 3 月 11 日には、東北地方太平洋沖地震が発生し、東部沿岸地域を中心に甚大な被害をこうむっている。事業予定地及び周辺の状況については、「1.4 東日本大震災の影響」(p.1-4~1-15 参照) に示すとおりである。

エ 大規模な造成を要する斜面地等（30 度以上の急斜面、谷密度が高い場所）

概況調査地域における傾斜区分は、図 6.1.3-4 に示すとおり、西側の一部を除き、概ね 3 度未満であり、30 度以上の急斜面は存在しない。

事業予定地の傾斜区分も 3 度未満である。



出典：平成 15 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書（平成 16 年 2 月 仙台市）
 ※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ
 (2011. 4. 9)」を基に作成
 ※大沼等の注目すべき地形・地質は、東北地方太平洋沖地震による浸水の影響がみられる

凡 例

- 事業予定地
- ① 大沼，赤沼，南長沼
- ② 井土浦・名取川河口・七北田川河口など
- 浸水区域

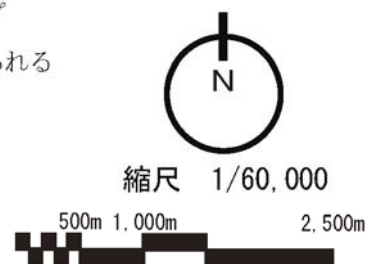
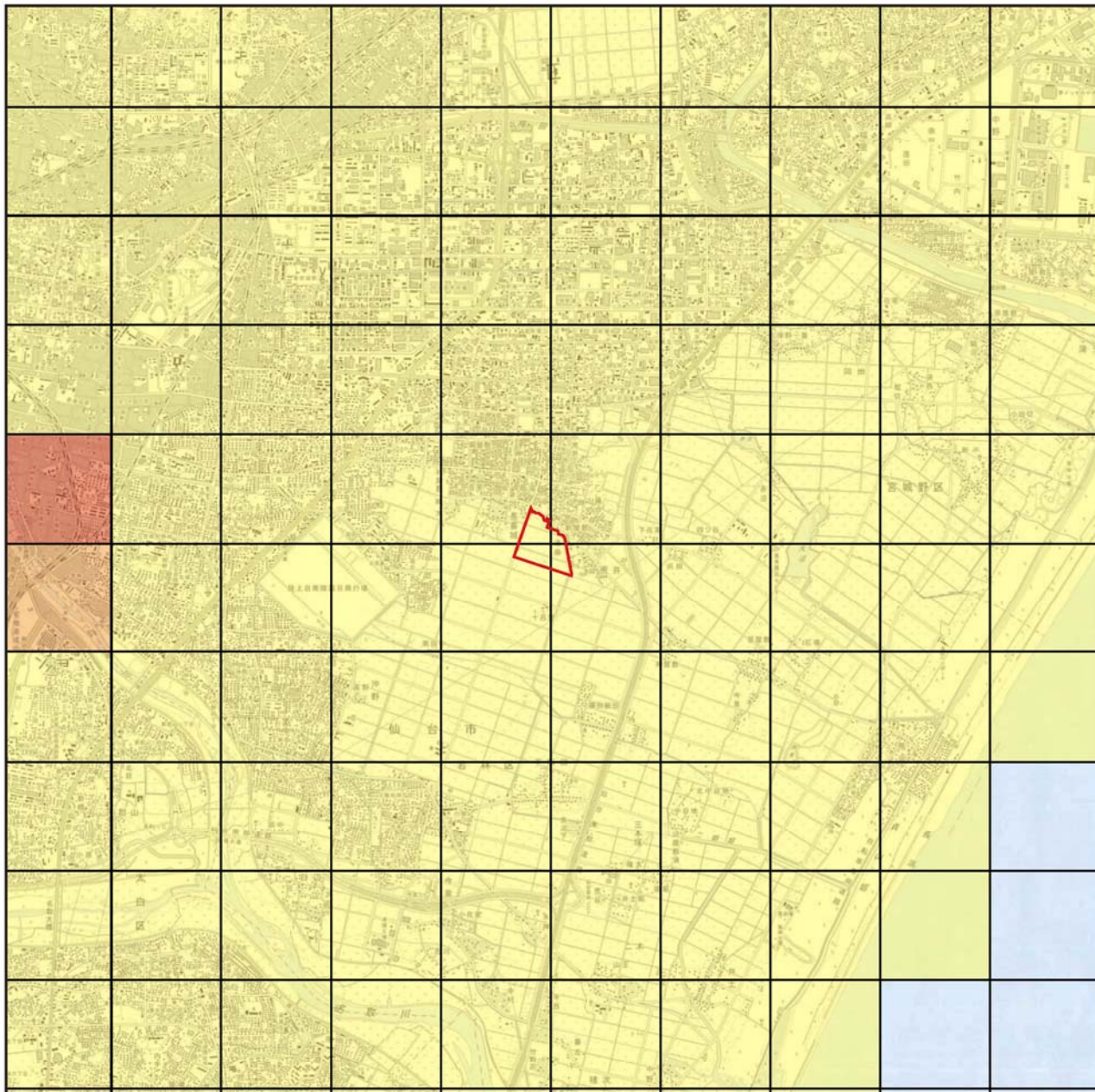


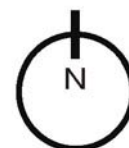
図 6.1.3-3 注目すべき地形・地質位置図



出典：仙台地域環境利用ガイド（地図集）昭和62年3月 宮城県

凡 例

-  事業予定地
-  傾斜量 8度以上 15度未満
-  傾斜量 3度以上 8度未満
-  傾斜量 3度未満



縮尺 1/60,000



図 6.1.3-4 傾斜量区分図

オ 災害の危険箇所

概況調査地域には、急傾斜地崩壊危険箇所、地すべり防止区域、砂防指定地、崩壊危険箇所、地すべり危険箇所、土石流危険箇所、崩壊地、地すべり地形は存在しないが、北西部（宮城野区宮城野原～東仙台四丁目）に活断層がみられる。活断層の位置は、図 6.1.3-5 に示すとおりである。

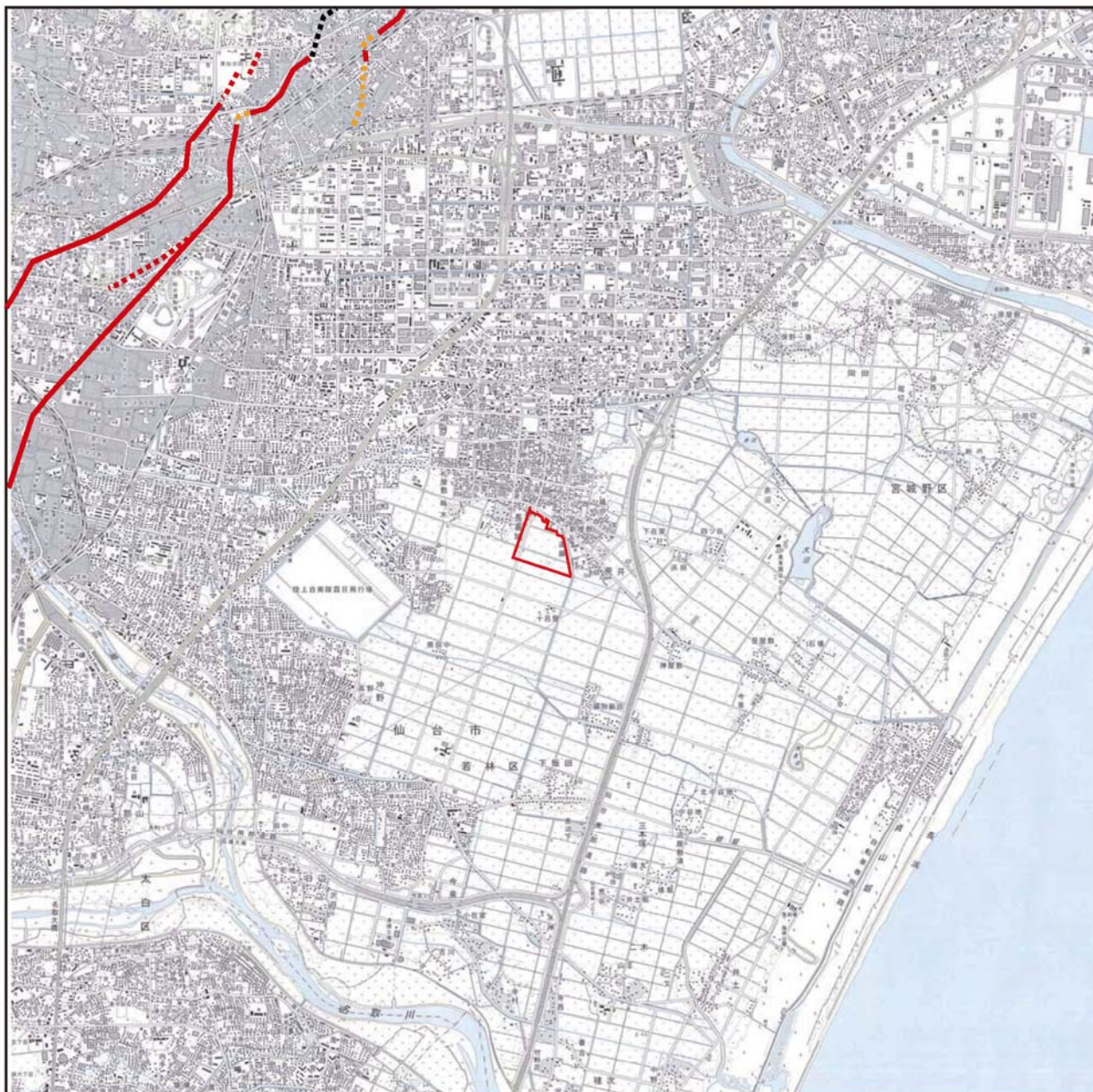
事業予定地は、沖積低地の後背湿地が分布していることから、軟弱地盤層が広く分布していると考えられる。

なお、防災上の注目域は、表 6.1.3-2 のように示されている。

表 6.1.3-2 防災上の注目域






項 目	分布及び特性
急傾斜地崩壊危険区域 (急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律)	崩壊のおそれのある急傾斜地（傾斜度 30° 以上の土地）であって居住者等に危害が生ずるおそれのあるもの及び隣接地で崩壊を助長・誘発するおそれのあるものを指定。 工作物等の設置、切土・盛土、木竹の伐採、土石の採取、水の浸透水を助長する行為等は許可を要する。
地すべり防止区域 (地すべり等防止法)	地すべりしている区域又は地すべりするおそれの極めて大きい区域及び隣接地で地すべりを助長・誘発するおそれのあるものを指定。 工作物等の設置、切土・盛土、木竹の伐採、土石の採取、地表水の浸透水を助長する行為等は許可を要する。
砂防指定地 (砂防法)	土砂等の生産、流送若しくは堆積により溪流、河川、若しくはその流域に著しい被害を及ぼす区域を指定。 工作物の設置、切土・盛土、木竹等の伐採、土石の採取等は禁止又は許可を要する。
崩壊危険箇所	崩壊により被害を生じる可能性のある箇所。
地すべり危険箇所	地すべりにより被害を生じる可能性のある箇所。
土石流危険箇所	土石流により被害を生じる可能性のある箇所。
崩壊地	かつて崩壊したところ。これが密度高く分布するところは、崩壊を生じやすい可能性がある。
活断層 (変位地形が明瞭な活断層) (変位地形が不明瞭な活断層)	活断層とは、最近の地質時代（第四紀あるいは第四紀後期）に繰り返し活動し、かつ将来も活動する可能性が大きいと考えられる断層をいう。活断層はいわゆる内陸直下型地震の震源となるという点で、近年注目をあびている。 仙台市内には、長町一利府線、大年寺山断層、鹿落坂断層、愛子断層、坪沼断層、作並一屋敷平断層の活断層が存在する。これらの周囲 200～300m 程度の範囲では、これらの活断層を震源とする地震が発生した場合、被害が特に大きくなる可能性がある。
軟弱層の厚さ	軟弱層とは、泥炭や有機質土、未固結の粘土・シルトから成る。含水比の高い圧縮性に富む地耐力の小さい土層をいう。沖積低地の主に後背湿地に分布する。 軟弱層の暑さは、地震の揺れの強さと相関があることが宮城県沖地震の被害状況等から知られている。また、一般に軟弱層は、荷重や水抜き等により収縮現象が起こりやすく、地盤沈下を引き起こすため、土地利用にあたって十分な対策が必要である。

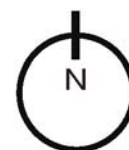
出典：平成 6 年度自然環境基礎調査報告書 平成 7 年 3 月 仙台市



出典：都市圏活断層図（国土地理院ホームページ）

凡 例

-  事業予定地
-  活断層
-  活断層（位置やや不明確）
-  活断層（伏在部）
-  推定活断層（地表）（位置不明確）



縮尺 1/60,000



図 6.1.3-5 活断層位置図

カ 災害等により影響を受ける施設等の状況

事業予定地周辺には、災害の危険箇所の指定はないが、過去に被害のあった浸水被害や地震による地盤の液状化が想定され、これらの災害等により影響を受ける施設は事業予定地及びその周辺の農地、住宅、道路等が考えられる。

キ 地形・地質保全上の留意点

事業予定地は、ほぼ平坦な地形で、災害の危険箇所も存在しないが、表層地質は沖積層の砂及び粘土の分布地となっており、軟弱地盤層の分布も想定される。

このため、地質調査により地層構成や地盤の強度を把握するなど、地形改変の範囲及び施工方法、構造物の配置及び規模等について留意する。

(2) 地盤沈下

ア 地盤沈下の状況

概況調査地域の地盤沈下の状況は、図 6.1.3-6 の昭和 49 年から平成 20 年までの累積変動量に示すとおり、北西部を除き、全域にわたり地盤沈下がみられる。

事業予定地は、昭和 49 年から平成 20 年までの間に、6 cm から 10 cm の地盤沈下があった地域に属する。

また、概況調査地域では、宮城県公害防止条例及び工業用水法において地下水の揚水が制限されており、事業予定地もこれに属している。地下水採取規制地域の位置は、図 6.1.3-6 に示すとおりである。

イ 地盤沈下の原因

地盤沈下の主な原因としては、軟弱な粘土層が分布している地域等において、大量の地下水を取水する場合や建物、工作物の建設等に伴う地盤の圧密などが挙げられる。

事業予定地周辺における地盤沈下については、日の出町や扇町等の工場が立ち並ぶ場所での工業用水の取水が大きな地盤沈下を招いたため、現在では前述のとおり、地下水の揚水が制限されている。

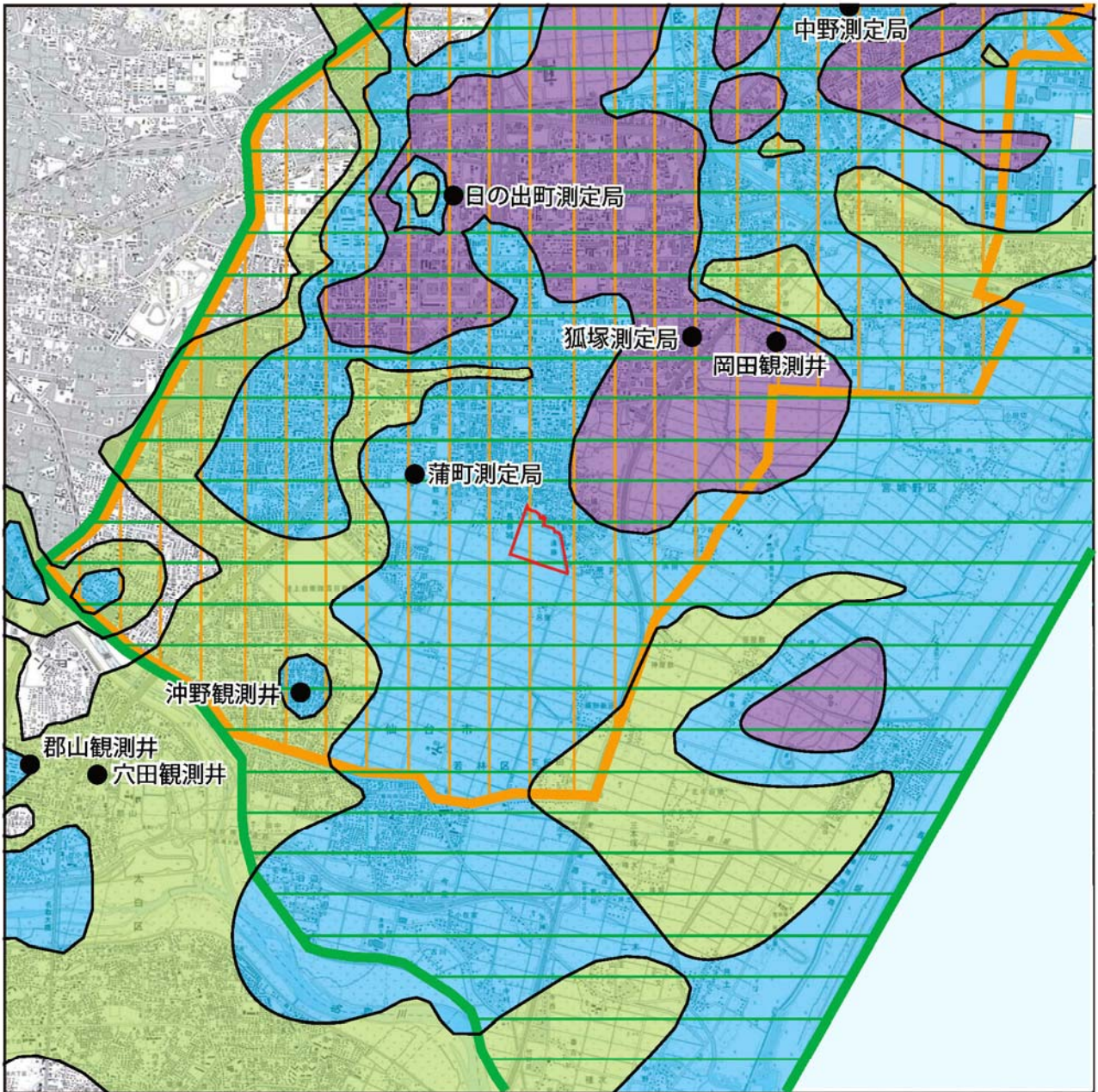
ウ 影響を受ける施設等の状況等

事業予定地は、軟弱な粘土層の分布が想定されるため、土地の形状の変更等により、地盤の圧密沈下による影響が考えられる。

この場合、影響を受ける施設等は、事業予定地に隣接する農地、住宅、道路等が考えられる。

エ 地盤沈下防止上の留意点

事業予定地は、軟弱な粘土層の分布が想定されるため、掘削や盛土工事を行う箇所では、地盤の変形による沈下や地下水位の変化による沈下の影響が生ずることのないよう、必要に応じた対策を行うなど地盤沈下の防止に留意する。



出典：仙台市の環境（平成 20 年度実績報告書）仙台市環境局
 地下水採取規制地域の指定（平成 7 年 10 月 1 日）宮城県告示 1045 号

凡 例

- 事業予定地
- 県公害防止条例地下水採取規制地域
- 工業用水法地下水揚水規制指定地域

※昭和 49 年～平成 20 年累積変動量

- 沈下量 4～6 cm
- 沈下量 6～10 cm
- 沈下量 10 cm 以上

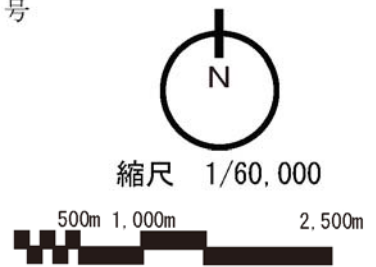


図 6.1.3-6 地下水揚水規制及び地盤沈下量図

(3) 土壌汚染

ア 土壌汚染の状況

概況調査地域における土壌のダイオキシン類の測定結果は、表 6.1.3-3 に示すとおりである。概況調査地域では平成 18 年度～平成 22 年度にかけて計 13 地点で調査を実施されており、測定結果は、すべての地点で環境基準を満足していた。

また、概況調査地域では、土壌汚染に係る苦情の発生はない。

表 6.1.3-3 土壌汚染測定結果（ダイオキシン類）（平成 18 年度～平成 22 年度）

No.	調査年月日	地点所在地	調査地点名称	測定結果 (pg-TEQ/g)	環境基準 (pg-TEQ/g)
1	平成 18 年 12 月 7 日、8 日	宮城野区東九番丁	榴岡小学校	0.054	1,000
2		宮城野田子	田子中学校	0.040	
3		若林区沖野	沖野東小学校	0.032	
4		太白区袋原	原前南公園	1.5	
5		太白区四郎丸	渡道北公園	0.065	
6		太白区中田町	後河原 2 号公園	1.7	
7	平成 19 年 10 月 24 日、25 日	若林区古城	古城小学校	0.095	
8	平成 20 年 11 月 18 日、19 日	宮城野区蒲生	港南東公園	0.44	
9		太白区郡山	穴田東公園	0.85	
10	平成 21 年 10 月 27 日、28 日	太白区郡山	郡山八丁目南公園	0.90	
11		太白区飯田	広瀬川飯田公園	0.021	
12	平成 22 年 12 月 9 日	宮城野区栄	中野栄小学校	0.49	
13		若林区荒井	七郷小学校	0.015	

出典：公害関係資料集 平成 19 年度～平成 23 年度（平成 18～22 年度測定結果）仙台市環境局

イ 発生源の状況

重点調査範囲において、土壌汚染対策法で規定する有害物質使用施設保有事業場は、表 6.1.3-4 のとおり 17 件あるが、事業予定地に最も近い施設でも事業予定地より約 1.2km 離れている。また、図 6.1.3-7 に示すとおり、事業予定地と同じ名取川流域に位置する有害物質使用特定施設は 5 件存在する。

事業予定地には、有害物質使用特定施設保有事業場の立地は、確認されていない。

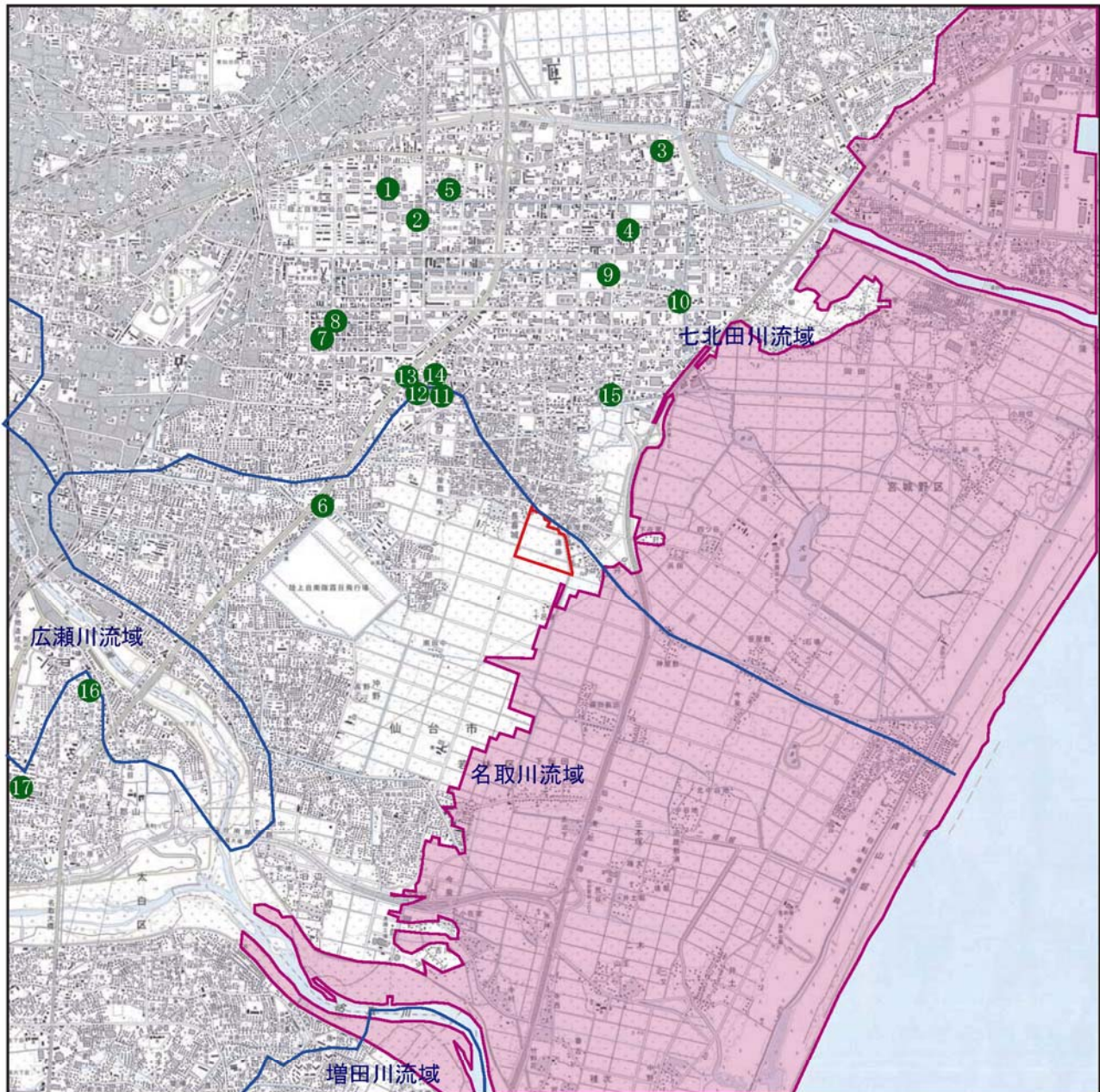
表 6.1.3-4 土壌汚染対策法による有害物質使用特定施設保有事業場

事業場名称	事業場の位置	河川の流域
株式会社D N P 東北	宮城野区苦竹三丁目	七北田川流域
独立行政法人産業技術総合研究所東北センター	宮城野区苦竹四丁目	七北田川流域
有限会社シーシーサポート	宮城野区扇町六丁目	七北田川流域
本田精機株式会社	宮城野区扇町四丁目	七北田川流域
社団法人宮城県生活環境事業協会浄化槽法定検査センター	宮城野区日の出町二丁目	七北田川流域
株式会社藤野硝子	若林区かすみ町	名取川流域
株式会社日本環境衛生研究所	若林区卸町一丁目	七北田川流域
株式会社サトーサービス	若林区卸町一丁目	七北田川流域
仙台市衛生研究所	若林区卸町東二丁目	七北田川流域
株式会社オートランドリータカノ	若林区鶴代町	七北田川流域
白山工芸塗装有限会社	若林区六丁の目元町	名取川流域
上坂メッキ工業株式会社 本社工場	若林区六丁の目元町	名取川流域
上坂メッキ工業株式会社 第二工場	若林区六丁の目元町	七北田川流域
株式会社イネツ仙台	若林区六丁の目元町	七北田川流域
中光印刷株式会社 仙台支局	若林区六丁の目東町	七北田川流域
白木屋クリーニング	太白区郡山三丁目	名取川流域
N E C トーキョー株式会社仙台事業所	太白区郡山六丁目	名取川流域

※上表特定施設保有事業場は、東北地方太平洋沖地震による浸水の影響はみられない

出典：仙台市への公文書開示請求結果（平成 23 年 3 月 31 日現在）

注）上記事業場は水質汚濁防止法及び下水道法の届出内容から把握しているものである。

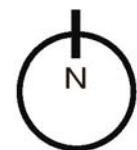


出典：「仙台市水環境プラン」平成11年3月 仙台市
 ※浸水区域は、「東北地方太平洋沖地震・日本地理学会災害対応本部津波被災マップ
 (2011.4.9)」を基に作成
 ※東北地方太平洋沖地震による浸水の影響があった特定施設保有事業場はみられない

凡例

事業予定地 浸水区域

- ① 株式会社DNP東北
- ② 独立行政法人産業技術総合研究所東北センター
- ③ 有限会社シーシーシーサポート
- ④ 本田精機株式会社
- ⑤ 社団法人宮城県生活環境事業協会浄化槽法定検査センター
- ⑥ 株式会社藤野硝子
- ⑦ 株式会社日本環境衛生研究所
- ⑧ 株式会社サトーサービス
- ⑨ 仙台市衛生研究所
- ⑩ 株式会社オートランドリータカノ
- ⑪ 白山工芸塗装有限公司
- ⑫ 上坂メッキ工業株式会社 本社工場
- ⑬ 上坂メッキ工業株式会社 第二工場
- ⑭ 株式会社イネツ仙台
- ⑮ 中光印刷株式会社 仙台支局
- ⑯ 白木屋クリーニング
- ⑰ NECトーキン株式会社仙台事業所



縮尺 1/60,000

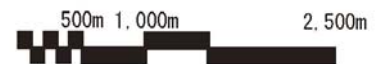


図 6.1.3-7 土壤汚染対策法による有害物質使用特定施設保有事業場図

ウ 土地利用の履歴

概況調査地域において、過去の土地利用履歴をみると、1907年（明治40年）当時は、名取川左岸の現国道4号バイパス付近は、既存集落程度の土地利用が行われている他は、ほとんどが農地となっている（図6.1.3-8参照）。

これらの地域は昭和40年代後半より土地区画整理事業や開発行為により住宅地開発が進展している。

事業予定地は、現在事業所が1件、住宅が2件とドッグランの施設が存在するが、従前の土地利用は水田となっている。

また、盛土材の搬入元として想定している利府町森郷字内ノ目北地内の土取場は、従前は林地となっている。

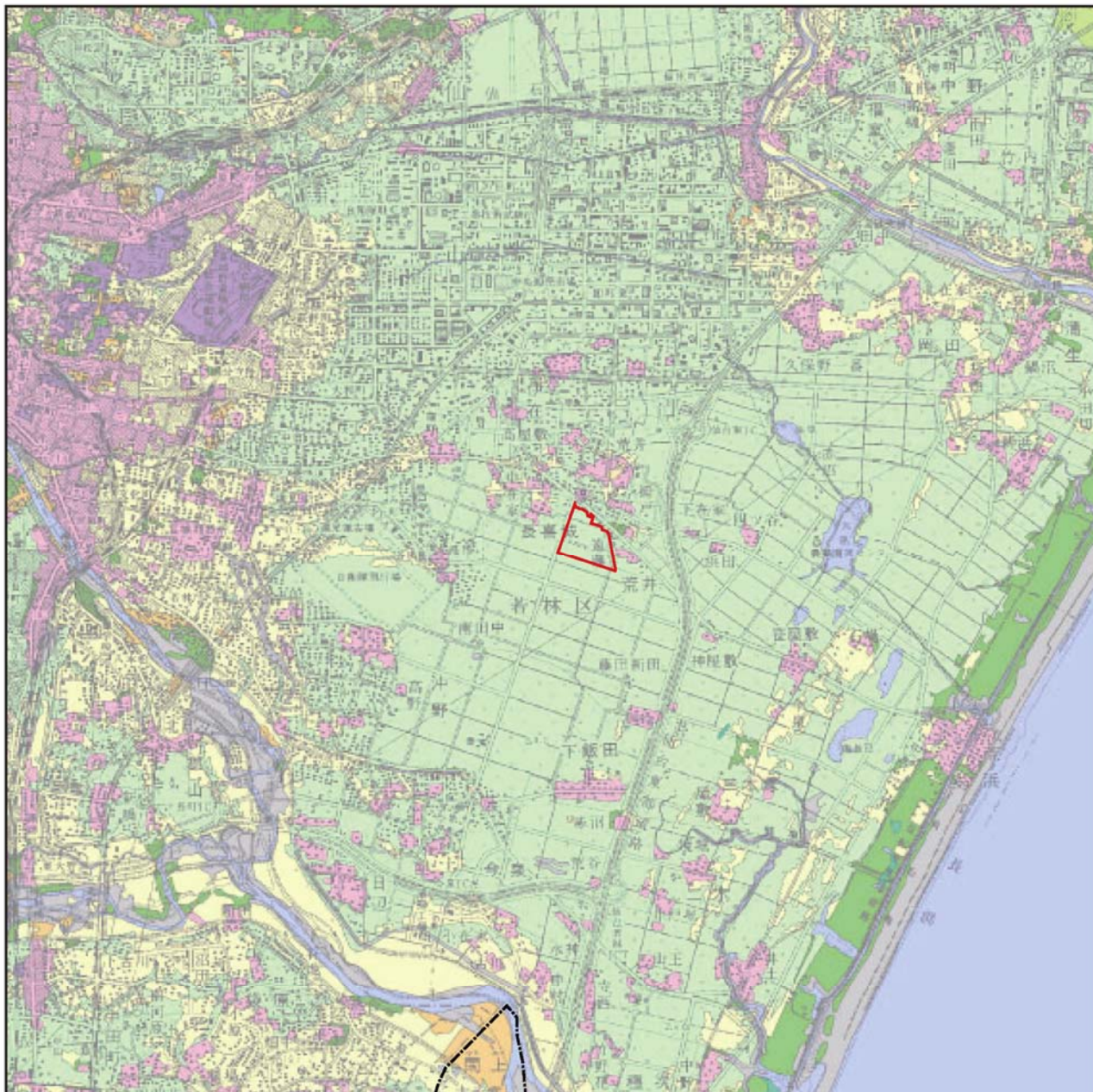
エ 影響を受ける施設等の状況等

土壌汚染により影響を受ける施設は、図6.2.3-2（p.6-135参照）に示すとおり、事業予定地周辺の井戸などの施設や農地が考えられる。

オ 土壌汚染防止上の留意点

事業予定地には、現時点では土壌汚染が問題化したような地歴のある箇所は見当たらない。今後、地形図、住宅地図、土地登記簿などの文献調査や周辺地域の聞き取り調査により土壌汚染が明らかになった場合には、土壌汚染対策法に沿った適切な対応に留意する。

搬入土は、良質土（砂質土又は岩ズリ）とし、土壌汚染調査で環境基準を満足している旨の検査証明書を提出することを施工業者に義務づけさせるとともに、事業者は搬入土の受入検査を実施し、土壌汚染のない土の搬入に留意する。



出典：土地分類基本調査（土地履歴調査）土地利用分類図（1907年）
国土交通省土地・水資源局国土調査課

凡例



縮尺 1/60,000



図6.1.3-8 土地利用分類図